

設置計画の概要

事項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ	コクリツダイガクホウジン キョウトコウゲイセンイダイガク
設置者	国立大学法人 京都工芸繊維大学
フリガナ	キョウトコウゲイセンイダイガク
大学の名称	京都工芸繊維大学 (Kyoto Institute of Technology)
新設学部等において 養成する人材像	<p>【工芸科学部 応用化学課程】 物質や材料の多様化等を踏まえ、物質、材料、生命現象にかかわる生体材料の成り立ちから応用までもを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材の育成を目的とし、物質、材料の研究における主要分類ごとに以下の4つのコースを設ける。</p> <p>(高分子材料デザインコース) ① 高分子材料や高分子ハイブリッド材料の材料設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力(総合力)を有する人材を養成する。 ② 高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学の幅広い基礎学力(総合力)に立脚し、高分子科学、高分子工学をベースとする高分子材料や高分子ハイブリッド材料の材料設計法を習得させる。 ③ 本学大学院博士前期課程 材料創製化学専攻・材料制御化学専攻へ進学し これらの専攻の修了生は、電気製品、化学(プラスチック、有機、無機他)、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス、その他製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待される。</p> <p>(材料化学デザインコース) ① 無機化学、物理化学をベースとするセラミックス、ガラスなどの物性制御や材料設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力(総合力)を有する人材を養成する。 ② 高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学の幅広い基礎学力(総合力)に立脚し、無機化学、物理化学をベースとするセラミックス、ガラスなどの物性制御や材料設計法を習得させる。 ③ 本学大学院博士前期課程 材料創製化学専攻・材料制御化学専攻へ進学し これらの専攻の修了生は、電気製品、化学(プラスチック、有機、無機他)、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス、その他製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待される。</p> <p>(分子化学デザインコース) ① 有機合成、有機材料合成をベースに有機材料、有機工業材料の分子設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力(総合力)を有する人材を養成する。 ② 高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学の幅広い基礎学力(総合力)に立脚し、有機合成、有機材料合成をベースに有機材料、有機工業材料の分子設計法を習得させる。 ③ 本学大学院博士前期課程 物質合成化学専攻へ進学し この専攻の修了生は、化学(有機、プラスチック、油脂他)、医薬品、繊維製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待される。</p> <p>(機能物質デザインコース) ① 生体関連化学をベースに生体分子のもつ機能発現のための分子設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力(総合力)を有する人材を養成する。 ② 高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学の幅広い基礎学力(総合力)に立脚し、生体関連化学をベースに生体分子のもつ機能発現のための分子設計法を習得させる。 ③ 本学大学院博士前期課程 機能物質化学専攻へ進学し この専攻の修了生は、化学(化粧品、プラスチック、有機他)、電気製品(分析機器等)、食料品、医薬品、その他製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待される。</p> <p>【工芸科学部 デザイン・建築学課程】 ① アイデアをモノ・コトに展開する実現力(表現力)や経営的知識・工学的知識・技術といった基礎を身につけた上で、PBL教育の展開によってディレクション能力やコミュニケーション能力、マネジメント能力といった応用的能力に関する素養を涵養し、大学院におけるより高度なデザイン教育による実践力の錬成を経ることによって、時代に応じて変化する社会的課題にデザイン思考により対応できる人材の育成が最終的な目標となる。 これを実現していくため、学部段階のデザイン・建築学課程においては、従来のプロダクトやグラフィック、空間、建築・都市デザインの基盤となってきた「意匠(モノの造形)」にとどまらず、それを成立させる社会的システムや新しいサービス、ユーザを巻き込んだプロセスやサステナブルを目指すリノベーションなど、新たなイノベーションを起こす展開の基礎力を持った人材を養成する。</p>

	<p>②時代に応じて変化する社会的課題に対し、モノの造形にとどまらず、デザイン思考の展開によって新たなサービスの創造と社会実装化が行える能力を有する人材を学部・大学院の一貫教育によって育成する中で、基礎段階である学部においては、以下の能力を修得させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.デザイン、建築の制作・評価のための基本技術 2.柔軟な感性と創造力及びビジネスマインド 3.科学的な思考力と判断力 4.デザイン、ビジネス、テクノロジーを横断した広い視野 5.社会構造・生活環境・経済環境についての広範な知識 <p>③ 卒業後は大学院進学や建設・不動産業、情報通信、繊維・機械器具・電子関係、金融業、卸売・小売業などの分野の企業や建築設計事務所、デザイン事務所等において、建築士、インダストリアルデザイナー（工業デザイン）、プロダクトデザイナー（製品デザイン）、グラフィックデザイナー、技術者、経営・営業企画職等のほか、博物館施設等における学芸員としての活躍が期待される。</p>
<p>既設学部等において 養成する人材像</p>	<p>【工芸科学部 生体分子応用化学課程】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生体関連物質の化学と工学に関して十分な基礎的知識と技術を身につけ、研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚を併せもつ人材を養成する。 ② 生体関連物質の化学と工学に関して十分な基礎的知識と技術を身につけさせる。 ③ 本学大学院博士前期課程 物質合成化学専攻・機能物質化学専攻・材料創製化学専攻へ進学して、化学(有機、プラスチック、油脂他)、医薬品、繊維製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待される。 <p>【工芸科学部 高分子機能工学課程】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高分子のもつ多彩な構造や機能の解明ならびに、今世紀の材料、環境、社会を支える新しい科学技術の教育・研究を通して、国際性と主体性を併せもつ人材を養成する。 ② 高分子のもつ多彩な構造や機能の解明ならびに、今世紀の材料、環境、社会を支える新しい科学技術を身につけさせる。 ③ 本学大学院博士前期課程 材料創製化学専攻・材料制御化学専攻へ進学して、化学(有機、プラスチック、油脂他)、医薬品、繊維製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待される。 <p>【工芸科学部 物質工学課程】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 原子や分子の構造から新素材や新材料の開発までの幅広い教育と最先端の研究を通じて、人と社会と自然の調和を意識した広い視野を持ち、チャレンジ精神に富んだ、21世紀の豊かで持続性のある社会を担える人材を養成する。 ② 原子や分子の構造から新素材や新材料の開発までの幅広い教育と最先端の研究 ③ 本学大学院博士前期課程 物質合成化学専攻・機能物質化学専攻・材料創製化学専攻・材料制御化学専攻へ進学して、化学(有機、プラスチック、無機、油脂他)、医薬品、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待される。 <p>【工芸科学部 デザイン経営工学課程】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 経営、デザイン、工学という人間活動の3つの主要分野を有機的に結びつけることによって、地球環境や社会と調和のとれた「人工物」を創り出す力を有し、地域を含む社会の創生に貢献するものづくりやビジネスをデザイン(企画)し、実行に移すことができるリーダーシップを発揮でき、広い視野に立ってあらゆることをプロデュースできる人材を養成する。 ② デザイン、マネジメント、エンジニアリングに関する幅広い領域を講義と演習を通して学習させ、豊富な演習を通して創造力を高めるとともに、講義等で身につけた知識を活用し、感知力、思考力、表現力の3つの基本能力と以下の素養を修得させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマインドや工学的基礎知識をもった広義のデザイナーとしての素養 ・デザインマインドやビジネスマインドをもった技術者・研究者としての素養 ・デザインマインド、工学的知能をもった経営企画者や製品企画者としての素養 ③ 卒業後は大学院進学や建設・不動産業、情報通信、繊維・機械器具・電子関係、金融業、卸売・小売業など分野の企業において、インダストリアルデザイナー（工業デザイン）、プロダクトデザイナー（製品デザイン）、技術者、経営企画職、営業職などの進路がある。 <p>【工芸科学部 デザイン・建築学課程】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① デザインと建築の制作能力に加えて、京都の地で揺籃される伝統とグローバル性を兼ね備えた幅広い知識、柔軟な感性と想像力、理論的な思考力と判断力を身につけ、建築家、デザイナー、或いは建築設計、デザインに広く関与する専門職業人として、生活環境と文化の革新に寄与できる人材を養成する。 ② デザイン・建築のもつ共通点である「生活環境と文化」をベースとした造形科学に関する基礎教育を共同で実施した上で、「デザイン」「建築」それぞれの分野に係る専門講義・演習等を通じ、以下の素養を習得させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活をデザインの力によって形成していく広範な知識と技術 ・建築をとりまく住環境・都市環境・自然環境、その共生に向けた生態学的知識や、環境コントロール技術をマネジメントするとともに、それらをより高い芸術性の中で取りまとめられる能力 ③ 卒業後は大学院進学や建設・不動産業、情報通信、化学工業・機械器具等の分野の企業や建築設計事務所、デザイン事務所等において、建築士、インダストリアルデザイナー（工業デザイン）、プロダクトデザイナー（製品デザイン）、グラフィックデザイナー等の進路に就くほか、博物館施設等における学芸員としての進路がある。

<p>新設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【工芸科学部 応用化学課程】 中学・高校教員1種(理科) ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の教職関連科目の単位の修得が必要 甲種危険物取扱者試験 ①国家資格、②受験資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能</p> <p>【工芸科学部 デザイン・建築学課程】 高校教員1種(工業) ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の教職関連科目の単位の修得が必要 学芸員 ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の関連科目の単位の修得が必要 二級建築士・木造建築士 ①国家資格、②受験資格取得可能 ③建築士試験指定科目の所定単位数以上の修得で可能</p>
<p>既設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【工芸科学部 生体分子応用化学課程】 中学・高校教員1種(理科) ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の教職関連科目の単位の修得が必要 甲種危険物取扱者試験 ①国家資格、②受験資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能</p> <p>【工芸科学部 高分子機能工学課程】 中学・高校教員1種(理科) ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の教職関連科目の単位の修得が必要 甲種危険物取扱者試験 ①国家資格、②受験資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能</p> <p>【工芸科学部 物質工学課程】 中学・高校教員1種(理科) ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の教職関連科目の単位の修得が必要 甲種危険物取扱者試験 ①国家資格、②受験資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能</p> <p>【工芸科学部 デザイン経営工学課程】 高校教員1種(工業) ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の教職関連科目の単位の修得が必要</p> <p>【工芸科学部 デザイン・建築学課程】 高校教員1種(工業) ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の教職関連科目の単位の修得が必要 学芸員 ①国家資格、②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、所定の関連科目の単位の修得が必要 二級建築士・木造建築士 ①国家資格、②受験資格取得可能 ③建築士試験指定科目の所定単位数以上の修得で可能</p>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
	工芸科学部	応用化学課程 [Undergraduate Program of Applied Chemistry]	4	169	3年次11	698	学士(工学)	工学関係	平成30年4月	生体分子応用化学課程	18	8
										高分子機能工学課程	17	7
										物質工学課程	23	11
										新規採用	7	0
										計	65	26
		デザイン・建築学課程 [Undergraduate Program of Design and Architecture]	4	156	3年次13	650	学士(工学)	工学関係	平成30年4月	デザイン経営工学課程	11	6
										デザイン・建築学課程	38	16
										新規採用	6	0
										計	55	22
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
	工芸科学部	生体分子応用化学課程(廃止)	4	51	3年次3	210	学士(工学)	工学関係	平成18年4月	応用化学課程	18	7
										退職	1	1
										計	19	8
		高分子機能工学課程(廃止)	4	51	3年次3	210	学士(工学)	工学関係	平成18年4月	応用化学課程	17	3
										退職	4	4
										計	21	7
		物質工学課程(廃止)	4	67	3年次5	278	学士(工学)	工学関係	平成18年4月	応用化学課程	23	9
										退職	2	2
										計	25	11
		デザイン経営工学課程(廃止)	4	40	3年次3	166	学士(工学)	工学関係	平成18年4月	デザイン・建築学課程	11	5
										退職	1	1
										計	12	6
		デザイン・建築学課程(廃止)	4	116	3年次10	484	学士(工学)	工学関係	平成18年4月(平成26年4月改称)	デザイン・建築学課程	38	11
										退職	5	5
										計	43	16
【備考欄】												
大学院工芸科学研究科 (博士前期課程) デザイン学専攻 [新規] (入学定員45) (平成29年4月事前伺い予定) デザイン学専攻 [廃止] (入学定員25) (平成30年4月学生募集停止) デザイン経営工学専攻 [廃止] (入学定員20) (平成30年4月学生募集停止)												

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学科学部応用化学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語教育科目	Interactive English A	1前	1				○								兼6
	Interactive English B	1後	1				○								兼6
	Career English Basic	1前	1				○								兼5
	Academic English	1後	1				○								兼4
	Career English Intermediate	2前・後	1				○								兼4
	Career English Advanced	2前・後	1				○								兼4
	Active English CLIL	2前・後		1			○								兼4
	Active English Listening & Speaking I	2前・後		1			○								兼6
	Active English Listening & Speaking II	2前・後		1			○								兼4
	Active English Reading I	2前・後		1			○								兼4
	Active English Reading II	2前・後		1			○								兼8
	Active English Writing I	2前・後		1			○								兼4
	Active English Writing II	2前・後		1			○								兼4
	Active English Project-Based Learning	2前・後		1			○								兼2
	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前		1			○							
ドイツ語初級基礎B		1後		1			○								兼4
ドイツ語初級演習A		1前		1			○								兼4
ドイツ語初級演習B		1後		1			○								兼4
ドイツ語中級A		2前		1			○								兼2
ドイツ語中級B		2後		1			○								兼2
ドイツ語上級A		3前		1			○								兼2
ドイツ語上級B	3後		1			○								兼2	
フランス語	フランス語初級基礎A	1前		1			○								兼4
	フランス語初級基礎B	1後		1			○								兼4
	フランス語初級演習A	1前		1			○								兼3
	フランス語初級演習B	1後		1			○								兼3
	フランス語中級A	2前		1			○								兼2
	フランス語中級B	2後		1			○								兼2
	フランス語上級A	3前		1			○								兼1
フランス語上級B	3後		1			○								兼1	
中国語	中国語初級基礎A	1前		1			○								兼3
	中国語初級基礎B	1後		1			○								兼3
	中国語初級演習A	1前		1			○								兼2
	中国語初級演習B	1後		1			○								兼2
	中国語中級A	2前		1			○								兼2
中国語中級B	2後		1			○								兼2	
小計(36科目)	—	—	6	30	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼49
人間教養科目	工学科学基礎	1前		1			○								兼4
	キャリア教育基礎	1前		1			○								兼2
	KITスタンダード	1後		2			○								兼6
	学習・キャリア戦略論	1後		2			○								兼1
	国際理解	1前		1			○			1					兼1
	人権教育	1前		2			○								兼1

科学技術と環境・倫理	地球環境論	1前		2		○							兼1
	環境マネジメント	3前		1		○							兼2 集中
	環境問題と持続可能な社会	1前		2		○							兼1
	環境と法	1後		2		○							兼1
	環境論	1後		2		○							兼1
	情報セキュリティと情報倫理	1後		2		○							兼3
	生命倫理と環境倫理	2前		2		○							兼1
	テクノロジー論	2後		2		○							兼1
	現代科学と倫理	1前		2		○							兼1
ものづくりと技術戦略	ものづくりと設計工学	1後		2		○			1				兼10
	ものづくりと造形科学	1前		2		○							兼14
	伝統産業概論Ⅰ	1前		2		○							兼1 集中
	伝統産業概論Ⅱ	1後		2		○							兼8 集中
	産学連携ものづくり実践	3前		4		○							兼1 ※実習
	ものづくり加工実習	2後		2		○							兼3 ※実習
	実践ユニバーサルデザイン	1前		2		○							兼1 集中
リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ -地域連携プロジェクト	1前		2		○							兼10 ※演習
	リーダーシップ基礎Ⅱ	1後		2		○							兼2 ※演習
	知的財産経営論	1前		2		○							兼2
	ベンチャー企業経営学	3後		2		○							兼1
	リーダーシップ実践Ⅰ	1前		2		○							兼1 ※演習 集中
	リーダーシップ実践Ⅱ	1前		2				○					兼2 集中
国際連携プロジェクト	4前		1				○					兼2 集中	
京の伝統文化と先端	京のサステナブルデザイン	2前		2		○							兼4
	文化財学	2前		2		○							兼2 ※演習 集中
	京の文化行政	2前		2		○							兼2 ※演習 集中
	京の伝統工芸-技と美	3前		2		○							兼9 ※演習 集中
	京の伝統工芸-知と美	4前		2		○							兼2 ※演習 集中
	京の意匠	1後		2		○							兼1
	京のまち	3後		2		○							兼5
	京の知恵 伝統産業の先進的 ものづくり	2後		2		○							兼1
	京の産業技術史	1後		2		○							兼1
	京の生活文化史	1前・後		2		○							兼1
	京都の文学Ⅰ	1前		2		○							兼1
	京都の文学Ⅱ	1後		2		○							兼1
	京都の歴史Ⅰ	1前		2		○							兼3
	京都の歴史Ⅱ	1後		2		○							兼3
	現代京都論	1前		2		○							兼1
	京都の農林業	1後		2		○							兼8
	京都の自然と森林	1前		2		○							兼4
	宗教と文化	1後		2		○							兼1
	英語で京都	3後		2		○							兼1
近代京都と三大学	1前		2		○							兼5	
京野菜を栽培する (リベラル アーツ・ゼミナール)	1前		1				○					兼2 ※実習 集中	
京都の経済	1後		2		○							兼1	
京都学・歴彩館ゼミ (リベラル アーツ・ゼミナール)	2後		2		○							兼1 ※演習	
小計 (52科目)	—	0	100	0	—	—	—	2	0	0	0	0	兼113
基本教養科目	人と社会	1前		2		○							兼2
	法学	1後		2		○							兼2
	憲法	2前		2		○							兼1
	経済学	1前		2		○							兼1
	心理学	1前		2		○							兼1
	現代教育論	1後		2		○							兼1
	政治学	1後		2		○							兼1
	経済学入門	1後		2		○							兼1

	国際政治	1前	2	○						兼1
	生活と経済	1後	2	○						兼1
	社会学Ⅰ	1前	2	○						兼1
	社会学Ⅱ	1後	2	○						兼1
	現代社会と心	1後	2	○						兼1
	現代社会とジェンダー	1前	2	○						兼6
	食環境をめぐる国際社会と日本	1前	2	○						兼2
	人文地理学Ⅰ	1前	2	○						兼2
	人文地理学Ⅱ	1後	2	○						兼1
	医史学	1前	2	○						兼1
	発達心理学	1前	2	○						兼1 集中
	社会科学の学び方 (リベラル アーツ・ゼミナール)	1後	2	○						兼1 ※演習
	現代社会と映画製作 (リベラル アーツ・ゼミナール)	1前	1	○						兼1 ※演習 集中
	アメリカと中国はいま (リベラル アーツ・ゼミナール)	1後	1	○						兼1 ※演習 集中
	現代イスラーム世界の文化と社会 (リベラルアーツ・ゼミナール)	1前	1	○						兼1 ※演習 集中
	経営哲学 (リベラルアーツ・ゼミ ナール)	2前	2	○						兼1 ※演習
人 と 文 化	哲学	1後	2	○						兼1
	歴史学	1後	2	○						兼2 集中
	舞台芸術論	3前	2	○						兼1
	日本近代精神史	1前	2	○						兼1
	美と芸術	1前	2	○						兼1
	比較宗教学	1前	2	○						兼1
	西洋文学論	1前	2	○						兼1
	日本近現代文学	1前	2	○						兼1
	科学と思想 (リベラルアーツ・ゼ ミナール)	1後	2	○						兼1 ※演習
	東西文化交流史	1後	2	○						兼1
	西洋文化論	1後	2	○						兼1
	日本史	1前	2	○						兼1
	フランス語圏の文化とジャポニスム	2前	2	○						兼1
	アジアの歴史と文化	1前	2	○						兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後	2	○						兼3
	映画で学ぶ英語と文化	3後	2	○						兼1
	映画で学ぶドイツ語と文化	3前	2	○						兼1
	日本文学Ⅰ	1前	2	○						兼1
	日本文学Ⅱ	1後	2	○						兼1
ラテン語	1後	2	○						兼1	
文芸創作論	1後	2	○						兼1	
現代社会に学ぶ問う力・書く力 (リベラルアーツ・ゼミナール)	1前・後	2	○						兼1 ※演習	
感性の実践哲学 (リベラルアーツ・ゼミナール)	1前	1	○						兼1 ※演習 集中	
人 と 自 然	人と自然と数学α	1前	2	○						兼1
	人と自然と数学β	1後	2	○						兼1
	人と自然と物理学	1後	2	○						兼2
	化学概論Ⅰ	1前	2	○						兼1
	化学概論Ⅱ	1後	2	○						兼1
	生物学概論Ⅰ	1前	2	○						兼1
	生物学概論Ⅱ	1後	2	○						兼1
	地球の科学	1後	2	○						兼1
	エネルギー科学	1前	2	○						兼1
	科学史	1後	2	○						兼1
物理学Ⅰ	1前	2	○						兼1	

		食と健康の科学	1前	2	○								兼4
		生命科学講話	1前	2	○								兼15 集中
		時間生物学特論	3前	2	○								兼1 集中
		生物学の人間学	1前	2	○								兼1
		医学概論	2後	2	○								兼1
		意外と知らない植物の世界	1後	2	○								兼5
		製品の機能から科学を学ぶ (リベラルアーツ・ゼミナール)	1後	2	○								兼1 ※演習
		小計 (64科目)	—	0	124	0	—	0	0	0	0	0	兼84 —
	体の科学	キャンパスヘルス概論	1前	2	○								兼1
		健康体力科学	2後	2	○								兼2
		生涯スポーツ	2前・後	2	○								兼5 ※演習
		生体行動科学	2前	2	○								兼2
		スポーツ科学Ⅰ	1前	2	○								兼6 ※演習
		スポーツ科学Ⅱ	1後	2	○								兼3 ※演習
		小計 (6科目)	—	0	12	0	—	0	0	0	0	0	兼9 —
専門教育科目	専門導入科目	地域課題導入セミナー	1前	1			○						兼3 集中 地域創生のみ対象
		小計 (1科目 (地域創生))	—	1	0	0	—	0	0	0	0	0	兼3 —
専門基礎科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前	2	○								兼3
		基礎解析Ⅱ	1後	2	○								兼3
		線形代数学Ⅰ	1前	2	○								兼1
		線形代数学Ⅱ	1後	2	○								兼1
		数学演習Ⅰ	1前	2	○								兼3 ※演習
		数学演習Ⅱ	1後	2	○								兼3 ※演習
		解析学Ⅰ	2前	2	○								兼1
		解析学Ⅱ	2後	2	○								兼1
		統計数理	2前	2	○								兼2
		応用解析	2前	2	○								兼1
		応用幾何	2後	2	○								兼1
		応用数理	3前	2	○								兼1
		数理応用代数	4後	2	○								兼1
		数理応用幾何	4後	2	○								兼1
		数理応用解析	4後	2	○								兼1
	数理応用統計	4後	2	○								兼1	
	数理応用演習	4前	1	○								兼4 ※演習	
	物理学	物理学Ⅰ	1前	2	○				2				兼1
		物理学Ⅰ演習	1前	2	○				1		1		※演習
		物理学Ⅱ	1後	2	○								兼3
		物理学Ⅱ演習	1後	2	○								兼3 ※演習
		物理学基礎実験	2前・後	2			○		1		1		兼2 地域創生は選択
	量子力学	2後	2	○								兼1	
	化学	化学Ⅰ	1前	2	○				2				
		化学Ⅱ	1後	2	○				2	1			
		物理化学Ⅰ (熱力学)	2前	2	○				3	1			
		物理化学Ⅱ (量子論)	2前	2	○				3	1			地域創生は選択
		物理化学Ⅲ (平衡と速度論)	2後	2	○				2	2			
		物理化学演習	3前	2	○				4	5		2	※演習 地域創生は選択
有機化学Ⅰ		2前	2	○				2	2				
有機化学Ⅱ		2後	2	○					2		2	地域創生は選択	
化学工学Ⅰ	2後	2	○				1	1					

	無機化学Ⅰ	2前	2			○			3				地域創生は選択
	高分子化学	2後		2		○			2	1		1	
	分析化学	1後		2		○			2	1			
	化学基礎実験	2前・後	2				○		26	22		17	
	環境化学	3後		2		○							兼2
生物学	生物学Ⅰ	1前		2		○							兼3
	生物学Ⅱ	1後		2		○							兼4
	資源生物と環境	1後		2		○							兼4
	生物学基礎実験A	4前			2		○						兼32 教職用
情報	情報処理演習	1前	2			○				2		4	※演習
	学術国際情報	3前	2			○			26	22		17	※演習
その他	地学Ⅰ	4前			2	○							兼1 教職用
	地学Ⅱ	4前			2	○							兼1 集中、教職用
	地学実験	4前			2	○							兼2 ※実験集中、教職用
	インターンシップA	3前		1			○	1					1週間
	インターンシップB	3前		2			○	1					2週間
繊維科学プログラム科目	繊維ナノ構造学	3後		2		○							兼1
	繊維プロセス工学	4前		2		○							兼15 オムニバス
	繊維生産流通システム概論	3後		2		○							兼1 集中
	クロウジングサイエンス	4前		2		○							兼2 オムニバス
	繊維科学実験	4前		2		○							兼1 ※実験集中
知的財産	アントレプレナーシップ概論	2前			2	○							兼1 地域創生は選択
	知的財産概論Ⅰ	2前			2	○							兼1 地域創生は選択
	知的財産概論Ⅱ	2後			2	○							兼1 地域創生は選択
	特許法・実用新案法Ⅰ	2前			2	○							兼1 地域創生は選択
	特許法・実用新案法Ⅱ	2後			2	○							兼1 地域創生は選択
	知的財産演習	3後			1		○						兼1 地域創生は選択
	民法概論Ⅰ	2前			2	○							兼1 地域創生は選択
民法概論Ⅱ	2後			2	○							兼1 地域創生は選択	
複合材料	繊維科学概論	3後		1		○							兼1 地域創生のみ対象
	複合材料科学	3後		2		○							兼1 地域創生のみ対象
	先端複合材料科学	3後		2		○							兼1 地域創生のみ対象
	複合材料基礎実験	3後		1			○						兼1 地域創生のみ対象
	複合材料ものづくり実験	4前		1			○						兼1 地域創生のみ対象
	小計(61科目+5科目(地域創生))	—	24	79	23	—			26	22	0	17	0 兼85 —
課程専門科目	コース共通	応用化学序論Ⅰ	1後	2			○		26	22		17	
		応用化学序論Ⅱ	2前	2			○		26	22		17	
		コースゼミ	3後	2			○		26	22		17	※演習地域創生は選択
		応用化学実験Ⅰ	3前	2				○	26	22		17	
		応用化学実験Ⅱ	3後	2				○	26	22		17	地域創生は選択
卒業研究	4通	8				○		26	22		17	地域創生は対象外	

A群 (高分子材料デザインコース)	高分子物性	2後	2		○			1	1				地域創生は選択
	振動・波動	2後		2	○			1					
	高分子レオロジー	3前		2	○			1					
	液晶・高分子物性	3前		2	○			1					
	ナノ材料物理化学	3後		2	○			1	1				
	統計物理学	2後		2	○				1				
	シミュレーション物理学	3前		2	○			1					
	高分子分子物性	3前		2	○				1	1			
	高分子構造学	3後		2	○				1	1			兼1
	環境と高分子	3後		2	○				1	1			
ファイバーサイエンス	3前		2	○			1	1					
高分子材料化学	3前		2	○				1		1		A群C群共通	
有機材料設計	3後		2	○			1	1					
B群 (材料化学デザインコース)	無機化学Ⅱ	2後	2		○			1	1				B群C群共通 地域創生は選択
	無機化学演習	2後		2	○				4		1		※演習 B群C群共通
	有機化学演習	2後		2	○				1		5		※演習 B群C群D群共通
	実験解析	2後		2	○			2					
	材料機器分析概論	3前		2	○			1	3		1		
	無機材料科学Ⅰ	3前		2	○			1					
	無機材料科学Ⅱ	3後		2	○			1	1				
	固体物性論	3前		2	○			1					
	分子量子化学	3後		2	○				1		1		
	固体熱力学	3後		2	○			1					
	金属材料学	3後		2	○								兼1 集中
C群 (分子化学デザインコース)	無機化学Ⅱ	2後		2	○				2				B群C群共通
	無機化学演習	2後		2	○				4		1		※演習 B群C群共通
	有機化学演習	2後	2		○				1		5		※演習 B群C群D群共通 地域創生は選択
	生化学Ⅰ	2後		2	○			1					
	有機化学Ⅲ	3前		2	○			1			1		
	高分子材料化学	3前		2	○				1		1		A群C群共通
	有機機器分析	3前		2	○				1		1		
	有機化学Ⅳ	3後		2	○			1			1		
	有機反応化学	3後		2	○				2				
	精密合成化学	3後		2	○			2					
精密材料化学	3後		2	○			2						

D群 (機能物質デザインコース)	有機化学演習	2後		2		○				1		5		※演習B群C群D群共通
	生化学Ⅰ	2後	2			○			1					地域創生は選択
	生化学Ⅱ	3前		2		○			1					
	生化学Ⅲ	3後		2		○			1					
	応用分析化学	2後		2		○			1	1				
	機能分子化学Ⅰ	3前		2		○				2		1		
	機能分子化学Ⅱ	3後		2		○			2			1		
	生体分子工学	3前		2		○			1					
	化学工学Ⅱ	3前		2		○			1	1				
	生物化学工学	3後		2		○			1	1				
選択科目(共通)	材料工学特論	4後		2		○			1					兼2 集中
	技術者倫理	3後		2		○								兼1
P R O G R A M 地域創生T e a c h	地域創生課題セミナーⅠ	3後	2				○							兼2 地域創生のみ対象
	地域創生課題セミナーⅡ	4前		2			○							兼2 地域創生のみ対象
	ものづくりインターンシップⅠ	3後	4					○						兼2 地域創生のみ対象
	ものづくりインターンシップⅡ	4前		4				○						兼2 地域創生のみ対象
	卒業プロジェクト	4通	8						26	22		17		
	小計(53科目+5科目(地域創生))	—	40	86	0		—		26	22		17		兼7
教職に関する科目	現代教師論	1後			2		○							兼1 集中
	教育原論	1前			2		○							兼1
	日本教育史	1前			2		○							兼1 集中
	教育心理学	1後			2		○							兼1
	教育社会学	1前			2		○							兼1 集中
	教育課程論	1前			2		○							兼1 集中
	理科教育法ⅠA	3前			2		○							兼1
	理科教育法ⅠB	3後			2		○			1				兼1
	理科教育法Ⅱ	2前・後			4		○							兼1
	道徳教育の理論と方法	1後			2		○							兼1
	特別活動論	1前			2		○							兼1 集中
	教育方法論	1後			2		○							兼1 集中
	視聴覚教育概説	1後			2		○							兼1 集中
	生徒指導	1前			2		○							兼1 集中
教育相談論	1前			2		○							兼1 集中	
教職実践演習(中・高)	4後			2			○						兼4 集中	
教育実習Ⅰ	4前			4				○					兼1 3~4週間	
教育実習Ⅱ	4前			2				○					兼1 2週間	
教育実習Ⅲ	4前			1				○					兼1 総括、集中	
	小計(19科目)	—	0	0	41		—		0	1	0	0	0	兼14
合計(291科目+11科目(地域創生))		—	71	431	64		—		26	22	0	17	0	兼34
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野				工学関係							

I 設置の趣旨・必要性**【趣旨・目的】**

物質や材料の多様な等々を踏まえ、物質、材料、生命現象にかかわる生体材料の成り立ちから応用までもを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材の育成を目的として、既設の工学科学部 生体分子応用化学課程、高分子機能工学課程及び物質工学課程を統合し、新たに応用化学課程を設置するとともに、同課程においては、大学院博士前期課程4専攻（材料創製化学専攻、材料制御化学専攻、物質合成化学専攻、機能物質化学専攻）とのシームレスな接続等の観点から、4つのコース（高分子材料デザインコース、材料化学デザインコース、分子化学デザインコース及び機能物質デザインコース）を設ける。

【背景・現状の課題】

京都工芸繊維大学の「知と美と技」を探究する学風の中で、物質や材料にかかわる教育研究は、建学以来脈々と引き継がれ、現在に至っている。現在の工学科学部では、無機材料、セラミックス、有機物質、有機材料、ゴム、高分子材料、プラスチック、繊維材料、生体関連物質、医薬品に至る幅広い分野の教育研究を展開しているところであるが、さらなる革新材料の創出が求められる現代社会においては、これらの物質、材料間の垣根が低くなり、より一層多様化している。

このような状況下において本学は、平成27年度に、次代の材料開発を担うグローバル人材を育成するため、本学の物質・材料系の大学院博士前期課程専攻組織体制を従前の高分子機能工学、生体分子工学、物質工学の3専攻から、物質合成化学、機能物質化学、材料制御化学、材料創製化学の物質・材料の階層性に基づいた4専攻へ改組し、ガラス・セラミックス分野から、高分子・繊維材料分野、あるいは機械・電気から医薬品まで、広範多岐にわたる分野・レベルにおいて革新的な物質や材料の開発に貢献する人材の育成を展開してきた。

大学院教育における組織改革を行った一方、学部における現行の生体分子応用化学課程、高分子機能工学課程及び物質工学課程の3課程体制では、1年次において専門基礎科目を共通の教育課程で学ぶが、2年次より3課程（生体分子応用化学課程、高分子機能工学課程及び物質工学課程）に所属するため、課程毎にカリキュラムが仕切られてしまうことになり、それぞれの専門を深掘りする反面、幅広く多様な物質や材料の基礎から応用までを学ぶことはできない状況にある。また、学部3課程、博士前期課程4専攻という状況は、学部教育と大学院教育とのシームレスな接続の障壁となっており、学部・大学院を一貫した教育を展開するという連続性の面でも、さらなる改善の余地がある状況といえる。

【設置の必要性】

物質や材料は、有史以来利用してきた天然物質や素材から現代の新規物質や材料まで、それらの構造に大きさ（スケール）の大小による複雑な積み重ねがある。これは物質や材料の階層性と言われるが、ナノメートル（10⁻⁹m）からメートル（m）まで、それぞれのレベルにおける構造が積み重なって実在の物質や材料が形成されている。実用される新規物質や材料ではマクロオーダーで要求される機能・性能を的確に把握し、その実現のために物質や材料の設計・合成段階から合目的にナノレベルから制御して構築するという機能と構造の階層制御が必要となる。このことの特徴的なものは、天然繊維などの生体由来材料に見られるが、今や合成繊維や人工セラミックスなどにおいてもその階層性が重要視されており、その構造制御と物性や機能の発現との強い関連が研究対象となっている。

物質や材料開発のもう一つのキーは複合化である。いわゆる複合材料だけでなく、高分子・有機物質と無機物質、あるいは生体関連物質と無機・有機物質とのハイブリッド化や複合化・コンポジット化による材料創出は、これまでにない機能と性質を生み、その実用例はどんどん広がっている。原子レベルでのハイブリッド化、素材レベルでのハイブリッド化、基礎材料レベルでの複合化など、多様化への展開が随所に見られる。

環境、エネルギー、福祉など様々な分野で今世紀の社会が求める新規な物質や材料の開発への期待は大きく、その重要度は今後ますます増していく。

このように多様化する物質や材料の研究開発に対応しうするためには、無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、化学工学、高分子化学の幅広い基礎学力（総合力）に立脚した、異分野間の相互理解を促進する人材の育成及び専門教育がより一層不可欠になる。

このため、現在の生体分子応用化学課程、高分子機能工学課程及び物質工学課程の3課程を一つに統合した応用化学課程を新設し、その中で、物質や材料のみにとらわれないことなく、ものの本質を多元的かつ多眼的に理解・解析でき、その中から新たな物質や材料の創出並びに機能の発現へとつなげられるような教育研究システムを構築することが不可欠である。

【設置（改組）の具体的内容と効果】

新設する応用化学課程の4コースでは、課程におけるの物質や材料にのみ特化した学習でなく、物質や材料の本質である階層性を理解した上で、応用化学課程4コースからその上に続く大学院博士前期課程4専攻（材料創製化学専攻、材料制御化学専攻、物質合成化学専攻、機能物質化学専攻）での教育研究への接続をシームレスに行うことが可能となる新たな教育研究システムが構築できる。また、学生にとっては進学に対する将来像が描きやすくなり、本学独自の取り組みである3×3制度（学部4年次を修士初年次と位置付け、学部・修士・博士の年次進行を実行上3年－3年－3年の一貫教育として育成・輩出人材の高度化を目指す制度）をより活用できる体制が整うこととなる。

具体的には、1年次から2年次前半にかけて、コース共通科目である応用化学序論Ⅰ、Ⅱの講義の中で課程の全ての学生が物質や材料の基礎の部分を選び、2年次後半から物質、材料の研究における主要分類ごとに設ける4コース（高分子材料デザイン、材料化学デザイン、分子化学デザイン、機能物質デザイン）を学生が選択することで、課程の垣根を取り払った柔軟な専門教育のコースワークを展開し、分野全体を俯瞰・デザインできる総合力を育成していく。さらに、3年次前期の応用化学実験Ⅰでは、既設の3課程の体制では不可能であった4コースのそれぞれの実験メニューをコースに関わらず課程の学生全員が共通に体得し、物質や材料を俯瞰的かつ実践的に学ぶことができるようになる。その上で、3年次後期の応用化学実験Ⅱでは、コース独自の学生実験へと発展させていき、4年次の卒業研究、大学院における教育研究へと繋げていく。

【養成する人材像】

物質や材料の多様化等を踏まえ、物質、材料、生命現象にかかわる生体材料の成り立ちから応用までもを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成する。その人材育成の目的のために、物質、材料の研究における主要分類ごとに以下の4つのコースを設ける。

◆高分子材料デザインコース

高分子材料や高分子ハイブリッド材料の材料設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力（総合力）を有する人材

◆材料化学デザインコース

無機化学、物理化学をベースとするセラミックス、ガラスなどの物性制御や材料設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力（総合力）を有する人材

◆分子化学デザインコース

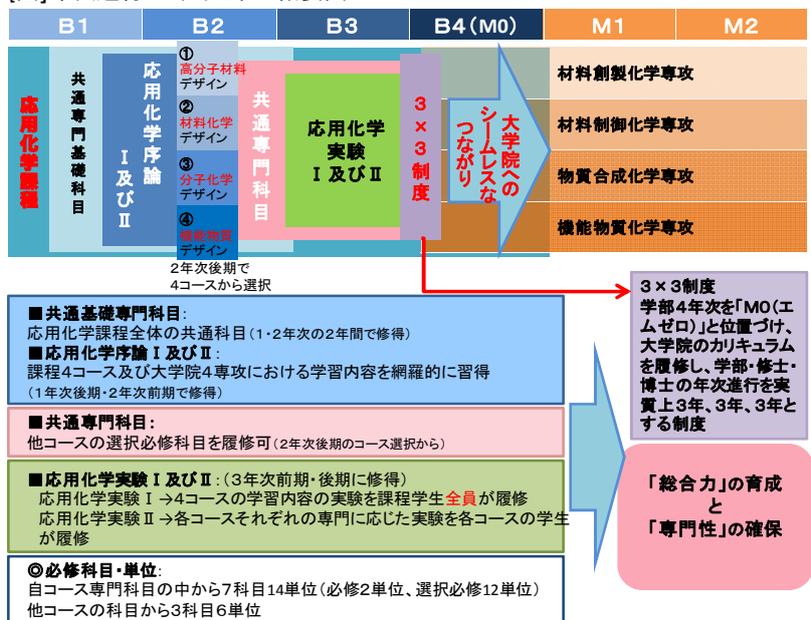
有機合成、有機材料合成をベースに有機材料、有機工業材料の分子設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力（総合力）を有する人材

◆機能物質デザインコース

生体関連化学をベースに生体分子のもつ機能発現のための分子設計法を理解し、高分子科学、無機材料科学、有機合成化学、生体関連化学における幅広い基礎学力（総合力）を有する人材

II 教育課程編成の考え方・特色

【図】年次進行・カリキュラム概要図



【教育課程の基本的な考え方】

応用化学課程では、学部教育の初等段階（1年次前半から2年次後半にかけて）で、化学、物理学、数学などをベースに学生全員が幅広い基礎的な総合力（物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、化学工学など）を培い、3年次で物質、材料（高分子材料、無機材料、有機材料、生体関連物質）の成り立ちから実践（社会ニーズ）に至るまでを網羅的に学習できるような体制をとる。3年次終了時点で学部4年次を実質上の修士初年次として自立できるような本学独自の3×3制度（学部4年次を「M0（エムゼロ）」と位置づけ、大学院のカリキュラムを履修し、学部・修士・博士の年次進行を実質上3年、3年、3年とする制度）に対応したカリキュラム編成と学生の主体性を重んじた履修制度を念頭に置いた教育課程を編成する。

（※地域創生Tech Programについて）

工学科学部においては、各課程の一般教育プログラムに加え、各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、またチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材を育成する学位プログラム「地域創生Tech Program」を設けている。当該学位プログラムは、各課程における専門科目と地域課題をテーマとしたセミナー科目や企業と共同したPBLによるものづくりインターンシップ科目を履修する構成となっており、理工学のような専門分野を学んだ人材が協働学習するPBLに重点をおき、各自の専門性を段階的に深化させる仕掛けを設けたプログラムである。

【教育方法の工夫・特色（カリキュラム概要）】

（基礎的なカリキュラム）

◆専門基礎科目

応用化学課程全体の共通科目として位置づけ1年次および2年次の2年間で履修できるようにカリキュラムを編成する。

◆**応用化学序論**

応用化学課程およびそれに続く大学院4専攻（材料創製化学専攻、材料制御化学専攻、物質合成化学専攻、機能物質化学専攻）で学習する内容を1年次後学期より2年次前学期までの1年をかけて「応用化学序論Ⅰ、Ⅱ」の講義で網羅的に学習できるようにする。

（専門的なカリキュラム）

◆**課程専門科目**

物質、材料（高分子材料、無機材料、有機材料、生体関連物質）のそれぞれを理解し、かつ適切に設計（デザイン）するためのコースとして、材料、物質の研究における主要分類ごとの4コース（高分子材料デザイン、材料化学デザイン、分子化学デザイン、機能物質デザイン）を設置して進路を明確化し、それぞれの設計指針や手法を中心に学ぶ体制とする。履修に際しては、学生は2年後学期の段階でコース選択をする。

また、課程共通科目として、3年次前後期にそれぞれ「応用化学実験Ⅰ」、「応用化学実験Ⅱ」を設ける。

（基礎から応用までの幅広い知識（総合力）を身につけるための工夫）

◆**コース共通科目（実験）**

基礎から応用までの幅広い知識（総合力）を身につけるためには物質、材料の成り立ちからその応用までを実践的に学ぶことが重要であり、3年前学期に開講する必修実験の「応用化学実験Ⅰ」では、4コースから提供される実験を通して、学生全員がコース横断的に材料、物質全般を実践的に学べる教育体制を敷く。3年後学期の「応用化学実験Ⅱ」では、各コースの独自の専門性の高い実験を通して、各コースのより高度な内容の学生実験を履修する内容とする。

◆**課程専門科目における自コース科目と他コース科目の関係**

それぞれのコースで開講される自コースの専門科目の中から7科目14単位（必修2単位、選択必修12単位）および他コース科目から3科目6単位（【地域創生Tech Program】では、自コースの専門科目の中から3科目6単位、他コース科目から2科目4単位）は必ず履修する教育システムとする（これを超える単位に関しては、コース内外の科目の縛りはなく自由に選択履修）。

◆**コース共通講義・演習の設定**

改組前の3課程では、それぞれの課程で同じ講義名で別々のメニューを開講していた。たとえば、物質工学課程と高分子機能工学、生体分子応用化学課程での「高分子化学」がその例である。新課程では、「高分子材料化学」の講義で統一し、高分子材料デザインと分子化学デザインのコース共通科目として、他の2コースでは他コース科目として4コースの学生に対して同時に開講する。その他、「有機化学演習」は材料化学デザイン、分子化学デザイン、機能物質デザインの3コース共通科目とし、「無機化学演習」は材料化学デザインと分子化学デザインの2コース共通科目とする。

（地域創生Tech Program卒の学生の場合）

◆**地域創成Tech Program卒の学生は、3年次前期までは一般プログラムと同様の方針のもと段階的に専門能力と連携能力を身につけさせ、3年次後期からは地域創生Tech Programのカリキュラムへと移行する。**

3年次後期から、PBL授業「地域創生課題セミナーⅠ・Ⅱ」（企業等連携）を受講したうえで卒業プロジェクトを実施する。したがって、卒業プロジェクトは、各自の専門分野に応じて、企業等の課題解決への提案型プロジェクトとなる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>一般プログラム 英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門基礎科目の必修科目24単位と選択科目から10単位を合わせて34単位以上、課程専門科目のコース共通（10単位）、卒業研究（8単位）とコース別の必修2単位の必修科目20単位、選択科目から18単位以上（自コース：12単位以上、他コース：6単位以上）を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p>	1学年の学期区分	2学期
<p>地域創生Tech Program 英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目1単位、専門基礎科目の必修科目14単位と選択科目から20単位を合わせて34単位以上、課程専門科目の必修科目20単位、コース別の選択科目から10単位（自コース：6単位、他コース：4単位）以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p>	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)																
(工芸科学部デザイン・建築学課程)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
言語教育科目	英語	Interactive English A	1前	1			○								兼10	
		Interactive English B	1後	1			○								兼10	
		Career English Basic	1前	1			○								兼8	
		Academic English	1後	1			○								兼5	
		Career English Intermediate	2前・後	1			○								兼7	
		Career English Advanced	2前・後	1			○								兼6	
		Active English CLIL	2前・後		1			○							兼4	
		Active English Listening & Speaking I	2前・後		1			○							兼6	TOEIC500点未満対象
		Active English Listening & Speaking II	2前・後		1			○							兼4	TOEIC500点以上対象
		Active English Reading I	2前・後		1			○							兼4	TOEIC500点未満対象
		Active English Reading II	2前・後		1			○							兼8	TOEIC500点以上対象
		Active English Writing I	2前・後		1			○							兼4	TOEIC500点未満対象
		Active English Writing II	2前・後		1			○							兼4	TOEIC500点以上対象
		Active English Project-Based Learning	2前・後		1			○							兼2	
		言語教育科目	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前		1			○						
ドイツ語初級基礎B	1後				1			○							兼2	
ドイツ語初級演習A	1前				1			○							兼2	
ドイツ語初級演習B	1後				1			○							兼2	
ドイツ語中級A	2前				1			○							兼2	
ドイツ語中級B	2後				1			○							兼2	
ドイツ語上級A	3前				1			○							兼2	
ドイツ語上級B	3後				1			○							兼2	
言語教育科目	フランス語	フランス語初級基礎A	1前		1			○							兼4	
		フランス語初級基礎B	1後		1			○							兼4	
		フランス語初級演習A	1前		1			○							兼3	
		フランス語初級演習B	1後		1			○							兼3	
		フランス語中級A	2前		1			○							兼2	
		フランス語中級B	2後		1			○							兼2	
		フランス語上級A	3前		1			○							兼1	
		フランス語上級B	3後		1			○							兼1	
言語教育科目	中国語	中国語初級基礎A	1前		1			○							兼2	
		中国語初級基礎B	1後		1			○							兼2	
		中国語初級演習A	1前		1			○							兼1	
		中国語初級演習B	1後		1			○							兼1	
		中国語中級A	2前		1			○							兼2	
		中国語中級B	2後		1			○							兼2	
	小計(36科目)	—	6	30	0		—		0	0	0	0	0	兼48	—	
人間教養科目	工芸科学教養科目	工芸科学基礎	1前		1			○			1				兼3	
		キャリア教育基礎	1前		1			○							兼2	
		KITスタンダード	1後		2			○			1				兼5	集中
		学習・キャリア戦略論	1後		2			○							兼1	※演習
		国際理解	1前		1			○							兼1	集中
		人権教育	1前		2			○							兼1	
		科学技	地球環境論	1前		2			○							兼1
	環境マネジメント	3前		1			○							兼2	集中	
	環境問題と持続可能な社会	1前		2			○							兼1		

術と環境・倫理	環境と法	1後		2	○										兼1
	環境論	1後		2	○										兼1
ものづくりと技術戦略	情報セキュリティと情報倫理	1後		2	○										兼3
	生命倫理と環境倫理	2前		2	○										兼1
	テクノロジー論	2後		2	○										兼1
	現代科学と倫理	1前		2	○										兼1
	ものづくりと生命物質科学	1後		2	○										兼14
リーダーシップと経営戦略	ものづくりと設計工学	1前		2	○										兼10
	伝統産業概論Ⅰ	1前		2	○										兼1 集中
	伝統産業概論Ⅱ	1後		2	○										兼8 集中
	産学連携ものづくり実践	3前		4	○										兼1 ※実習
	ものづくり加工実習	2後		2	○										兼3 ※実習
	実践ユニバーサルデザイン	1前		2	○										兼1 集中
	リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト	1前		2	○						1				兼10 ※演習
リーダーシップ基礎Ⅱ	1後		2	○										兼2 ※演習	
知的財産経営論	1前		2	○										兼2	
ベンチャー企業経営学	3後		2	○										兼1	
リーダーシップ実践Ⅰ	1前		2	○										兼1 ※演習 集中	
リーダーシップ実践Ⅱ	1前		2			○								兼2 集中	
国際連携プロジェクト	4前		1			○								兼2 集中	
京の伝統文化と先端	京のサステナブルデザイン	2前		2	○										兼4
	文化財学	2前		2	○			2							※演習 集中
	京の文化行政	2前		2	○										兼2 ※演習 集中
	京の伝統工芸-技と美	3前		2	○			1	1						兼7 ※演習 集中
	京の伝統工芸-知と美	4前		2	○										兼2 ※演習 集中
	京の意匠	1後		2	○			1							
	京のまち	3後		2	○			3	1	1					
	京の知恵 伝統産業の先進的ものづくり	2後		2	○										兼1
	京の産業技術史	1後		2	○										兼1
	京の生活文化史	1前・後		2	○										兼1
	京都の文学Ⅰ	1前		2	○										兼1
	京都の文学Ⅱ	1後		2	○										兼1
	京都の歴史Ⅰ	1前		2	○										兼3
	京都の歴史Ⅱ	1後		2	○										兼3
	現代京都論	1前		2	○										兼1
	京都の農林業	1後		2	○										兼8
	京都の自然と森林	1前		2	○										兼4
	宗教と文化	1後		2	○										兼1
	英語で京都	3後		2	○										兼1
	近代京都と三大学	1前		2	○			1							兼4
	京野菜を栽培する(リベラルアーツ・ゼミナール)	1前		1			○								兼2 ※実習 集中
京都の経済	1後		2	○										兼1	
京都学・歴史館ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)	2後		2	○										兼1 ※演習	
小計(52科目)	—		0	100	0	—		6	2	1	1	0		兼104	
基本教養科目	人と社会	1前		2	○										兼2
	法学	1後		2	○										兼2
	憲法	2前		2	○										兼1
	経済学	1前		2	○										兼1
	心理学	1前		2	○										兼1
	現代教育論	1前		2	○										兼1
	政治学	1後		2	○										兼1
	経済学入門	1後		2	○										兼1
	国際政治	1前		2	○										兼1
	生活と経済	1後		2	○										兼1
	社会学Ⅰ	1前		2	○										兼1
	社会学Ⅱ	1後		2	○										兼1
	現代社会と心	1後		2	○										兼1
	現代社会とジェンダー	1前		2	○										兼6

	食環境をめぐる国際社会と日本	1前		2	○								兼2
	人文地理学 I	1前		2	○								兼2
	人文地理学 II	1後		2	○								兼1
	医史学	1前		2	○								兼1
	発達心理学	1前		2	○								兼1 集中
	社会科学の学び方 (リベラル アーツ・ゼミナール)	1後		2	○								兼1 ※演習
	現代社会と映画製作 (リベラル アーツ・ゼミナール)	1前		1	○								兼1 ※演習 集中
	アメリカと中国はいま (リベラ ルアーツ・ゼミナール)	1後		1	○								兼1 ※演習 集中
	現代イスラーム世界の文化と社会 (リベラルアーツ・ゼミナール)	1前		1	○								兼1 ※演習 集中
	経営哲学 (リベラルアーツ・ゼ ミナール)	2前		2	○								兼1 ※演習
	哲学	1後		2	○								兼1
	歴史学	1後		2	○								兼2 集中
	舞台芸術論	3前		2	○								兼1
	日本近代精神史	1前		2	○								兼1
	美と芸術	1前		2	○			1					
	比較宗教学	1前		2	○								兼1
	西洋文学論	1前		2	○								兼1
	日本近現代文学	1前		2	○								兼1
	科学と思想 (リベラルアーツ・ ゼミナール)	1後		2	○								兼1 ※演習
	東西文化交流史	1後		2	○								兼1
	西洋文化論	1後		2	○								兼1
	日本史	1前		2	○								兼1
	フランス語圏の文化とジャポニスム	2前		2	○								兼1
	アジアの歴史と文化	1前		2	○								兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後		2	○								兼3
	映画で学ぶ英語と文化	3後		2	○								兼1
	映画で学ぶドイツ語と文化	3前		2	○								兼1
	日本文学 I	1前		2	○								兼1
	日本文学 II	1後		2	○								兼1
	ラテン語	1後		2	○								兼1
	文芸創作論	1後		2	○								兼1
	現代社会に学ぶ問う力・書く力 (リベラルアーツ・ゼミナール)	1前・後		2	○								兼1 ※演習
	感性の実践哲学 (リベラルア ーツ・ゼミナール)	1前		1	○								兼1 ※演習 集中
	人と自然と数学α	1前		2	○								兼1
	人と自然と数学β	1後		2	○								兼1
	人と自然と物理学	1後		2	○								兼2
	化学概論 I	1前		2	○								兼1
	化学概論 II	1後		2	○								兼1
	生物学概論 I	1前		2	○								兼1
	生物学概論 II	1後		2	○								兼1
	地球の科学	1後		2	○								兼1
	エネルギー科学	1前		2	○								兼1
	科学史	1後		2	○								兼1
	物理学 I	1前		2	○								兼1
	食と健康の科学	1前		2	○								兼4
	生命科学講話	1前		2	○								兼15 集中
	時間生物学特論	3前		2	○								兼1 集中
	生物学的人間学	1前		2	○								兼1
	医学概論	2後		2	○								兼1
	意外と知らない植物の世界	1後		2	○			1		1			兼3
	製品の機能から科学を学ぶ (リ ベラルアーツ・ゼミナール)	1後		2	○								兼1 ※演習
	小計 (64科目)	—	0	124	0	—	1	1	1	0	0		兼81 —
科体 学の	キャンパスヘルス概論	1前		2	○								兼1
	健康体力科学	2後		2	○								兼2
	生涯スポーツ	2前・後		2	○								兼5 ※演習

		生体行動科学	2前		2		○									兼2			
		スポーツ科学Ⅰ	1前		2		○									兼3	※演習		
		スポーツ科学Ⅱ	1後		2		○									兼3	※演習		
		小計(6科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0		兼9	—		
専門教育科目	専門導入科目	ソーシャルインタラクションデザイン概論	1前	2			○			22	16	6	11	2			オムニバス		
		デザイン・建築基礎実習	1前	2					○	22	16	6	11	2					
		地域課題導入セミナー	1前	1					○								兼3	集中地域創生のみ対象	
		小計(2科目+1科目(地域創生))	—	5	0	0	—			22	16	6	11	2		兼3	—		
専門基礎科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前		2		○										兼1		
		線形代数学Ⅰ	1前		2		○										兼1		
		数学演習Ⅰ	1前		2		○										兼1	※演習	
		基礎解析Ⅱ	1後		2		○										兼1		
		線形代数学Ⅱ	1後		2		○										兼1		
		数学演習Ⅱ	1後		2		○										兼1	※演習	
		統計数理	2前		2		○										兼1		
	物理学	基礎力学	1前		2		○											兼1	
		基礎電磁気学	1後		2		○											兼1	
		力学	1後		2		○											兼1	
		統計熱力学	2前		2		○											兼1	
		量子力学	2後		2		○											兼1	
	化学・生物学・その他	化学Ⅰ	1前		2		○											兼1	
		生物学Ⅰ	1前		2		○											兼4	
		化学Ⅱ	1後		2		○											兼1	
		生物学Ⅱ	1後		2		○											兼4	
		新先端ファイブ科学	1後		2		○											兼12	
		図学	2後		2		○											兼1	
		インターンシップA	3前		1				○	1								週間	
		インターンシップB	3前		2				○	1								週間	
		生体機能論	3前		2		○											兼1	
スポーツバイオメカニクス		4前		2		○											兼1		
環境化学	3後		2		○											兼1			
情報	情報	情報リテラシー概論	1前		2		○					1							
		造形基礎	1前		1				○									兼2	
	知的財産	アントレプレナーシップ概論	2前			2		○										兼1	地域創生は選択
		知的財産概論Ⅰ	2前			2		○										兼1	地域創生は選択
		特許法・実用新案法Ⅰ	2前			2		○										兼1	地域創生は選択
		民法概論Ⅰ	2前			2		○										兼1	地域創生は選択
		知的財産概論Ⅱ	2後			2		○										兼1	地域創生は選択
		特許法・実用新案法Ⅱ	2後			2		○										兼1	地域創生は選択
		民法概論Ⅱ	2後			2		○										兼1	地域創生は選択
	知的財産演習	3後			1			○									兼1	地域創生は選択	
	複合材料	繊維科学概論	3後		1		○											兼1	地域創生のみ対象
		複合材料科学	3後		2		○											兼1	地域創生のみ対象
		先端複合材料科学	3後		2		○											兼1	地域創生のみ対象
		複合材料基礎実験	3後		1				○									兼1	地域創生のみ対象
複合材料ものづくり実験		4前		1				○									兼1	地域創生のみ対象	

		小計 (33科目+5科目 (地域創生))	—	0	55	15	—	0	0	0	0	0	0	兼43
課程 専門科目	習基礎 科目演	デザイン・建築表現演習	1後		3		○	22	16	6	11	2		
		ソーシャルインタラクシオンデザイン演習	1後		3		○	11	9	2	4	2		
	建築 実習 科目	建築設計実習Ⅰ	2前		4		○	5	3	1	5			兼2
		建築設計実習Ⅱ	2後		4		○	9	4	2	5			兼2
		建築設計実習Ⅲ	3前		4		○	8	3	2	4			兼2
		建築設計実習Ⅳ	3後		4		○	11	7	4	7			
	(P B L) デザイン 実習 科目	プロジェクトデザインⅠ	2前		4		○	11	9	2	4	2		
		プロジェクトデザインⅡ	2後		4		○	11	9	2	4	2		
		プロジェクトデザインⅢ	3前		4		○	11	9	2	4	2		
		プロジェクトデザインⅣ	3後		4		○	11	9	2	4	2		
	建築 理論 科目	建築構造力学Ⅰ	1後		2		○	1	1	1				
		建築構造力学Ⅱ	2前		2		○	1	1					
		建築構造力学Ⅲ	2後		2		○	1	1					
		建築計画Ⅰ	2前		2		○	1	1					
		建築計画Ⅱ	2後		2		○		1	1				
		環境調整Ⅰ	2前		2		○		1					
		環境調整Ⅱ	2後		2		○		1					
		建築構造設計学Ⅰ	2後		2		○	1	1					
		建築構造設計学Ⅱ	3前		2		○		1	1				
		都市史Ⅰ	2後		2		○			1				
都市史Ⅱ		3前		2		○	1							
都市史Ⅲ		3後		2		○		1	1					
建築構造		2前		2		○	3	2	1					
西洋建築史		2前		2		○	1							
日本建築史		2後		2		○	1	1						
東洋建築史		3前		2		○		1						
近代建築史		3前		2		○	2							
造形材料		2後		2		○			1	1				
建築職能論		3前		2		○	3	1					兼1	
環境デザイン論		3前		2		○	1		2	1				
景観論	3前		2		○	1								
建築設備	3前		2		○							兼1		
住環境計画	3後		2		○	1								
都市・建築遺産論	3後		2		○	1			1					
空気調整設備	3後		2		○							兼1		
建築生産	3後		2		○							兼1		
建築法規	3後		2		○							兼1		
デザイン 理論 科目	製品技術論	2前		2		○		1						
	視覚デザイン論	2前		2		○		1						
	コンピューテーショナルデザイン	2前		2		○		1						
	ファシリティ計画論	2前		2		○	1							
	デザイン史	2後		2		○		1						
	映像デザイン論	2後		2		○		1						
	工業デザイン論	2後		2		○	1							
	室内意匠計画	3前		2		○	1							
	視覚形成論	3後		2		○	1							
	デザイン方法論	3後		2		○	1							
芸術 理論 科目	日本美術史	1前		2		○			1					
	西洋美術史	1後		2		○		1						
	感性論	2前		2		○		1						
	現代美術館学	2後		2		○	2			1				
	写真・映画論	3前		2		○		1		1			集中	
	庭園美学論	3前		2		○							兼1	

	博物館概論	3前		2	○				1				
	現代芸術論	3後		2	○			1					
マネジメント論科目	企業経営学概論	1後		2	○		1	1					兼1 集中
	マーケティング論	2前		2	○								
	プロジェクトマネジメント	2前		2	○		1						
	会計・財務基礎	2後		2	○		1						
	経営戦略論	3前		2	○		1	1					
	事業企画論	3前		2	○								兼1 集中
	ファシリティ経営論	3前		2	○								兼1
	デザインマネジメント	3後		2	○				1				
	市場参入論	3後		2	○			1					
エンジニアリング論科目	資源環境論	1前		2	○								兼1 集中
	エンジニアリング概説	1後		2	○		3			1			
	ものづくりの統計学	1後		2	○			1					兼1
	生産工学	2前		2	○								兼1
	材料工学	2後		2	○								兼1
	人間情報科学	3前		2	○		1						
	感覚工学	3後		2	○		1		1				
	デザイン経営工学事例研究	3後		2	○								兼4 集中
スキルアップ演習科目	CAD/CG実習	2前		1		○	1			1			集中
	デザインプラクティスⅠ	2前		1		○	1	1		2			兼2
	デザインプラクティスⅡ	2後		1		○	2			1	1		
	デザインプラクティスⅢ	3前		1		○							兼1
	デザインプラクティスⅣ	3後		1		○	1	1		1			
	情報処理演習	2後		2						1			
	建築環境工学演習	3前		1		○		1					
	建築構造材料実験	3前		1			1	1	1	1	1		
	建築測量演習	3前		1		○		4	1	4			
	建築計画演習	3後		2		○	1	2	1				
	伝統建築演習	3後		2		○	1	1		1			
	建築設計製図Ⅰ	2後		2									
	建築設計製図Ⅱ	3前		2									
建築設計製図Ⅲ	3後		1										
研究指導	デザイン・建築学演習	4前		6		○	22	16	6	11			
	卒業研究	4通		8			22	16	6	11			
地域創生Treach Program	地域創生課題セミナーⅠ	3後		2		○							兼2 地域創生のみ対象
	地域創生課題セミナーⅡ	4前		2		○							兼2 地域創生のみ対象
	ものづくりインターンシップⅠ	3後		4		○							兼2 地域創生のみ対象
	ものづくりインターンシップⅡ	4前		4		○							兼2 地域創生のみ対象
	卒業プロジェクト	4通		8			22	16	6	11			
小計(88科目+5科目(地域創生))				22	193	0	22	16	6	11	2	兼28	
教職に関する科目	現代教師論	1後		2	○								兼1 集中
	教育原論	1前		2	○								兼1
	日本教育史	1前		2	○								兼1 集中
	教育心理学	1後		2	○								兼1
	教育社会学	1前		2	○								兼1 集中
	教育課程論	1前		2	○								兼1 集中
	工業教育法	2前・後		4	○								兼1
	道徳教育の理論と方法	1後		2	○								兼1

	特別活動論	1前			2	○									兼1	集中
	教育方法論	1後			2	○									兼1	集中
	視聴覚教育概説	1後			2	○									兼1	集中
	生徒指導	1前			2	○									兼1	集中
	教育相談論	1前			2	○									兼1	集中
	教職実践演習（中・高）	4後			2		○								兼4	集中
	教育実習Ⅰ	4前			4				○						兼1	3～4週間
	教育実習Ⅱ	4前			2				○						兼1	2週間
	教育実習Ⅲ	4前			1				○						兼1	総括、集中
	職業指導Ⅰ	1前			2	○									兼1	
	職業指導Ⅱ	1後			2	○									兼1	
	小計（19科目）	—	0	0	41	—			0	0	0	0	0	0	兼13	—
学芸員資格取得のための授業科目	博物館概論	3前			2	○					1					
	博物館学Ⅰ	3前			2	○			2							
	博物館学Ⅱ	3後			2	○				2						
	文化財学	2前			2	○			2							※演習集中
	文化財保存科学	3前			2	○									兼1	
	教育学概論	3前			2	○									兼1	集中
	博物館教育論	3後			1	○									兼1	集中
	生涯学習概論	3前			2	○									兼1	集中
	博物館情報・メディア論	3後			2	○					1				兼1	
	博物館実習	4通			3			○	2		1					
	デザインマネジメント	3後			2	○					1					
	京の産業技術史	1後			2	○									兼1	
	小計（12科目）	—	0	0	24	—			4	4	1	0	0	兼5	—	
合計（312科目+11科目(地域創生)）		—	33	514	80	—			22	16	6	11	2	兼299	—	
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係										

I. 設置の趣旨・必要性**【趣旨・目的】**

第4次産業革命に伴う人工知能・ビッグデータ等を活用した産業構造の変化等を見据え、時代に応じて変化する社会的な課題に対し、「デザイン思考」の展開によって新たなサービスの創造や社会実装化を行える人材を育成することを目的として、既存のデザイン・建築学課程とデザイン経営工学課程を統合し、新たなデザイン・建築学課程を設置する。

【社会的背景】

現在、社会のデザインへの期待は、「意匠（モノの造形）」にとどまらず、プロダクトやグラフィック、空間といった領域を超え、第4次産業革命に伴う人工知能、ビッグデータ、IoTなどを活用した産業構造の変化によりもたらされる「新たなサービス」も含む「モノ・コト」の有り様（デザイン）にまで展開してきており、「デザインの多様化」が進んでいる。また、社会的課題の解決手段としてもデザイナーの能力が求められる機会が増えているなど、世界的にデザインの専門家の需要が高まっていると同時に、デザイナーに対して多様な社会的ニーズに対応できる能力が求められるようになってきている。我が国においても、国際競争力強化の観点から、既に様々なデザイン政策に関する取組が行われており、例えば経済産業省においては、平成19年に策定された「感性価値創造イニシアティブ」で感性価値を生み出す人材育成の必要性を提唱するとともに、同省が進める「地方発クールジャパン」の取組においては「モノのデザイン」から「コトのデザイン」への転換による地方創生を推進しているほか、同省クリエイティブ産業課の政策立案において「デザイン思考」を実践するなどしている。

【これまでの取組】

本学のデザイン教育は、明治35年の京都高等工芸学校図案科に始まり、昭和24年の京都工芸繊維大学発足時に工芸学部建築工芸学科が設置され、その後、意匠工芸学科及び住環境学科、建築学科、工芸学研究科意匠工芸学専攻及び住環境学専攻等の設置、工芸学部造形工学科、工芸科学研究科造形工学専攻への統合等の変遷を経て、現在の工芸科学部デザイン・建築学課程及びデザイン経営工学課程と工芸科学研究科デザイン学専攻及びデザイン経営工学専攻に至っている。

平成10年と平成14年にそれぞれ新設されたデザイン経営工学課程及びデザイン経営工学専攻は、「意匠（モノの造形）」に留まらず、製品クオリティの根幹となる「工学」と、製品やサービスの社会実装実現の根幹となる「経営（ビジネス）」の二つの分野を取り込んだ広い意味の「デザイン」教育に取り組み、「コト」化が進む社会の需要（デザイン成果の社会実装・強化）に応えるべく、早い時期から「デザイン思考」を実践できる人材の育成を展開してきた。

他方、平成26年にデザイン・建築分野の強みや特色を対外的に明らかにする観点から、学部課程の名称を造形工学課程からデザイン・建築学課程に変更するとともに、博士前期課程においては、建築設計学専攻、造形工学専攻、デザイン科学専攻の3専攻から、「建築」及び「デザイン」を標榜する2専攻（建築学専攻及びデザイン学専攻）に再編し、併せて博士後期課程においても造形科学専攻を建築学専攻およびデザイン学専攻に改組した。これは、従来のプロダクトやグラフィック、空間の「意匠（モノの造形）」を深掘りしてきた教育から、急速な地球環境および社会構造の変化、情報技術革新といった社会状況に対応する革新的解決策として、モノ・コトをデザインできる人材の養成を狙いとしたものであり、社会的課題に対応したPBL教育を主体とした実践教育の強化によって「デザイン思考」教育への転換を図ったものである。

また、デザイン学専攻の設置と時を同じくして、デザイン学専攻、建築学専攻を中心とした全学組織「KYOTO Design Lab」を設置し、海外の大学のユニット誘致を中心とした国際連携プロジェクトに多くの学生が参加し、スタンフォード大学、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学等との連携によって世界の実践的先端教育を肌で知る機会となったと同時に、それらの海外先端教育プログラムが展開する「デザイン思考」による人材育成をベンチマークとして、更なる本学における教育研究プログラムの発展的展開の課題や可能性が明らかとなってきた。

【現状の課題と設置（改組）の必要性】

今後、人工知能、ビッグデータ、IoT等による第4次産業革命に対応していくためには、新たなサービス価値の創出あるいはサービスを産み出すビジネスやコミュニティの在り方までを視野に入れた人材育成が不可欠となってくる。そうした中で、本学における、①社会的課題へ革新的解決策を提供するためのモノ・コトづくりができる人材の育成を目指して「デザイン思考」教育を推し進めてきたデザイン分野（デザイン・建築学課程、デザイン学専攻）と②デザイン成果の社会実装化を強化させることができる人材の育成を目指して「デザイン思考」教育に取り組んできたデザイン経営工学分野（デザイン経営工学課程・専攻）は、「デザイン思考」による教育展開を目指している点で大きな方向性は同一であり、これまで、それぞれの視点で展開してきたプログラムは、互いに補完できる関係性であることが明快となってきた。

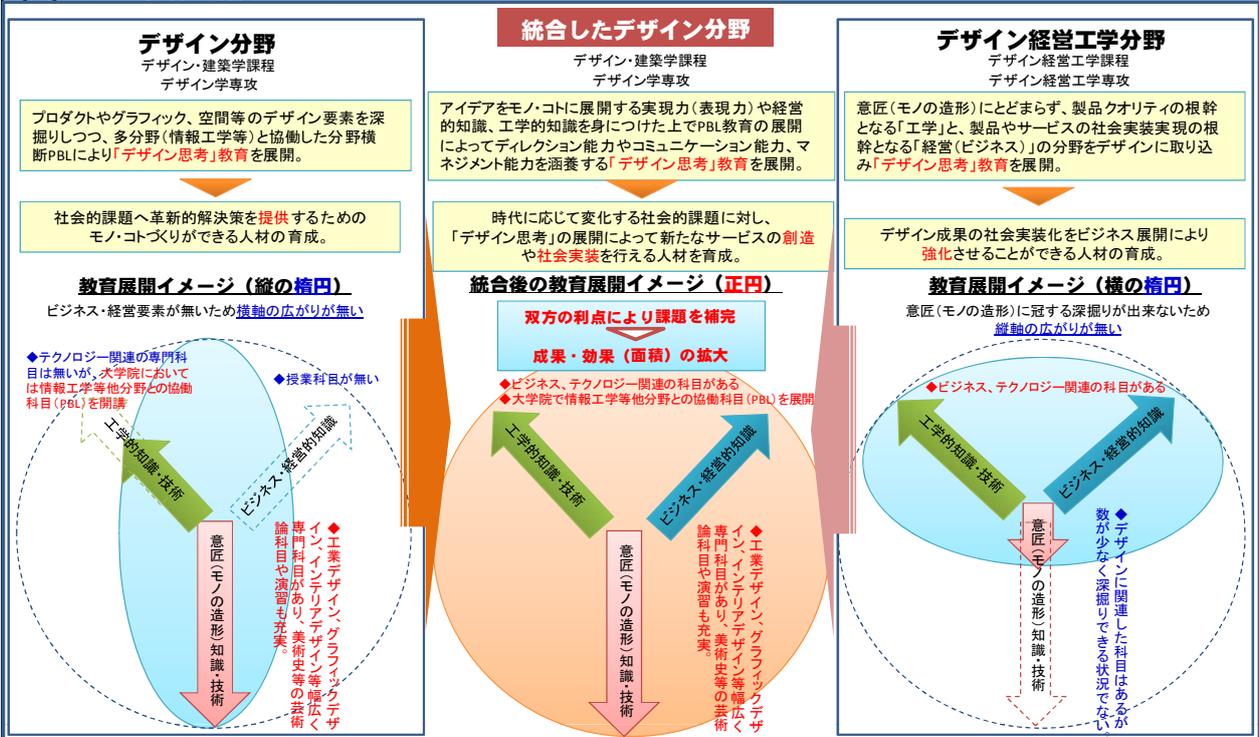
具体的には、本学のデザイン分野（デザイン・建築学課程、デザイン学専攻）の教育においては、プロダクトやグラフィック、空間等のデザイン要素を深掘りしつつ、他分野（サイエンス、機械、情報、バイオテクノロジー等）と協働した分野横断PBLにより「デザイン思考」教育を展開し、多くのデザイナーを輩出してきたが、そこで新たに産み出されたアイデア・プロダクトを社会実装し強化・持続させるためのビジネス展開に関する教育プログラムが無かった。

一方、本学のデザイン経営工学分野（デザイン経営工学課程・専攻）においては、「意匠（モノの造形）」に留まらず、製品クオリティの根幹となる「工学」、製品やサービスの社会実装実現の根幹となる「経営（ビジネス）」の要素を取り込んだ広い意味の「デザイン」教育に取り組む、デザイナー、プロデューサー、起業家などを輩出してきたが、プロダクトやグラフィック、空間の「意匠（モノの造形）」の部分に関しては、深掘りできる状況にはなく、デザイン分野と比して教育プログラムが少ない状況にあった。

このような状況を踏まえ、今後、新たなサービス価値の創出あるいはサービスを産み出すビジネスやコミュニティの在り方までを視野に入れたデザイン教育が重要となってくることを見据えると、社会的課題へ革新的解決策を提供するためのモノ・コトづくりができる人材の育成を目指して「デザイン思考」教育を推し進めてきたデザイン分野と、デザイン成果の社会実装化を強化させることができる人材の育成を目指して「デザイン思考」教育を推し進めてきたデザイン経営工学分野を合体し、両分野の展開してきた教育カリキュラムを融合させることが不可欠である。

このため、デザイン学とデザイン経営工学における壁を取り払い、学部課程及び大学院専攻それぞれにおいて組織の統合を行うことにより、両者が異なるアプローチで展開してきた「デザイン思考」による人材育成プログラムを統合し、デザイン・ビジネス・テクノロジーを融合した一体的なモノ・コトのデザイン思考教育を展開するための体制を整備する必要がある。

【図】デザイン教育の統合イメージ



デザイン思考: 社会の潜在的ニーズ(課題)を発掘し、様々な専門領域の融合によってアイデアをプロトタイプ化することによって視覚化し、グループで試作・検証を繰り返すことによってモノ・コトづくりを創造的に展開する手法

【人材育成の目標と実現方策】

新たに設置するデザイン・建築学課程では、課程の共通のキーワードである「デザイン」の下、アイデアをモノ・コトに展開する実現力(表現力)や経営的知識・工学的知識・技術といった基礎を身につけた上で、PBL教育の展開によってディレクション能力やコミュニケーション能力、マネジメント能力といった応用的能力に関する素養を涵養する。そして、大学院におけるより高度なデザイン教育による実践力の錬成を経ることによって、時代に応じて変化する社会的課題にデザイン思考により対応できる人材を育成することが最終的な目標となる。

これを実現していくため、学部段階のデザイン・建築学課程においては、従来のプロダクトやグラフィック、空間、建築・都市デザインの基盤となってきた「意匠(モノの造形)」にとどまらず、それを成立させる社会的システムや新しいサービスなど、ユーザを巻き込んだプロセスやサステイナブルを目指すリノベーション、新たなイノベーションを起こす展開の基礎教育をデザイン分野、建築分野それぞれの進路目標に沿って実施する。そのために、モノづくりの技術的・制度的な仕組みや社会実装化までを総合的に実践できる素養を身につけることを目的とした、デザイン、建築、ビジネス、テクノロジーに関する基礎教育プログラムを提供するとともに、それらの特性を下地として、それぞれの専門分野のプロジェクトを学部専門科目の中の実習科目として実施し、大学院において開講する実践科目につなげることとする。(具体的には、「II 教育課程編成の考え方・特色」を参照)

【養成する人材像】

このように、時代に応じて変化する社会的課題に対し、モノの造形にとどまらず、デザイン思考の展開によって新たなサービスの創造と社会実装化を行える能力を有する人材を学部・大学院の一貫教育によって育成する中で、基礎段階である学部においては、以下の能力を修得させる。

1. デザイン、建築の制作・評価のための基本技術
2. 柔軟な感性と創造力及びビジネスマインド
3. 科学的な思考力と判断力
4. デザイン、ビジネス、テクノロジーを横断した広い視野
5. 社会構造・生活環境・経済環境についての広範な知識

【課程名称】

社会の動きによって「デザイン」の概念は変化し、そうした社会における個別具体の事柄に対し、様々な「デザイン」の呼称（プロダクトデザイン、グラフィックデザイン等）が存在する。しかしながら本学が組織名称において呼称する「デザイン」は、それらを全て包含した広い意味での「デザイン」を指し、個別具体の事柄で用いられる狭義の「デザイン」ではない。

この考え方のもと、今回改組における「デザイン・建築学課程」と「デザイン経営工学課程」との統合にあたっては、全ての意味合いを包含した「デザイン」の名の下に統合することとしている。また、専門家育成の目的を明示し、大学院専攻との接続を明確にする観点から「建築」の名称は残すこととしている。これらのことから、改組後の課程名称は、既設のデザイン・建築学課程の名称を継承するものとする。

【人材養成の緊急性（学部課程と博士前期課程専攻との同時設置）】

前述のとおり、現在我が国においては、第4次産業革命にともなう人工知能、ビッグデータ、IoTなどを活用した産業構造の変化によりもたらされる世界的な転換に対応することが望まれているが、先進各国と比してその対応が立ち後れているとともに、今後、IT人材を中心として人材の不足が予測され、人材の育成が喫緊の課題となっている。こうした構造変動の中で、世界的に、ユーザーニーズを的確に捉え、IT活用等により業種の垣根を越えて製品・サービスを産み出すデザイン活用企業が増えている状況にある。我が国においても一部企業においてデザイン活用の動きはあるが、全体としては普及が遅れていると言われている。このような状況に対処するために、新たなビジネスを生み出すにあたり、上流工程、すなわち、経営・商品企画、マーケティング、R&D等、新たなビジネスを担う中核に「デザイン」の要素に通じた人材が必要であり、今後、第4次産業革命を通して増加を目指す上流工程人材は少なくとも96万人必要であるといわれている。（※平成29年2月「第4次産業革命人材育成推進会議（第2回）経済産業省提出資料」、平成28年4月「第4次産業革命をリードする日本の戦略～産業構造審議会 中間整理」）

AI等技術革新・データを活かした新たな需要の発掘・獲得、すなわち、革新的なサービス・製品の創出を展開できる「デザイン人材」の育成は、IT等における専門技術者と同じく、急務であるといえる。こうした社会が希求する人材を養成していく上で、本改組構想はこれに十分合致するものであり、人材育成の緊急性も鑑み、学部課程、博士前期課程専攻を同時設置することとし、カリキュラムは本学独自の学部4年次を修士初年次と位置づける学部・大学院一貫教育「3×3制度」を活用して、4年次から大学院科目の受講を可能とし、6年一貫の育成プログラムとして切れ目なく展開することを念頭に設定する。

II. 教育課程編成の考え方・特色

【教育課程の基本的な考え方】

改組後のデザイン・建築学課程では既設のデザイン・建築学課程において培ってきたデザイナー・建築家育成教育プログラムとデザイン経営工学課程で展開されてきたデザイン、経営、工学の分野横断的な教育プログラムを融合させることで、デザイン・建築の両分野における専門性と異分野との連携能力を兼ね備えた人材を育成する。そのために学部から博士前期課程までの6年一貫の総合的デザイン教育を展開するためにカリキュラムを設定する。学部段階において、1年次にはデザイン・建築分野の意匠技術及びビジネス・テクノロジーの要素を組み込んだデザインの社会実装に必要な「デザイン思考」による方法論に関する基礎を学び、2、3年次にかけて段階的にデザイン、建築のいずれかに特化した専門能力を深める。

4年次においては現行の学部・大学院で展開している、学部4年次を実質的な修士初年次（M0（エムゼロ））とする本学独自の「3×3制度」を活用する。

建築分野の学生は、学部4年次に卒業研究でそれぞれの専門性を深めた作品や論文を制作すると同時に、修士初年次「M0（エムゼロ）」として、建築学専攻（博士前期課程）のカリキュラムを履修することができる。そこでは、より高度な専門理論や最新技術を学び、建築士受験資格に必要なインターンシップに備える。

デザイン分野の学生は学部4年次に卒業研究でそれぞれの専門性を深めた作品や論文を制作すると同時に、修士初年次「M0（エムゼロ）」としてデザイン学専攻（博士前期課程）の開講科目「プロジェクトデザインA」で各種企業や団体等との連携プロジェクトによる、より高度な分野横断型のPBLを経験することとなり、異分野との連携・協働能力を習得するための教育プログラムを、博士前期課程まで連続させる。

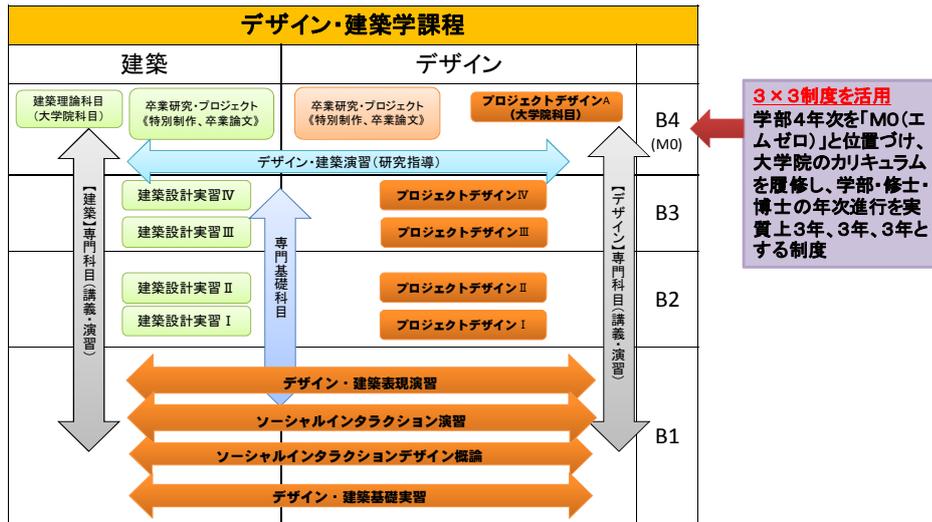
なお、学部旧カリキュラム4年次の学生が新たに設置するデザイン学専攻（博士前期課程）の教育プログラムの初年次生となる経過期間においては、既設のデザイン・建築学課程の学生には既設のデザイン経営工学課程のテクノロジーやビジネスに関する科目の履修を奨励し、既設のデザイン経営工学課程の学生には既設のデザイン・建築学課程のデザイン論に関する科目、美術史・芸術論に関する科目の履修を奨励することで、新設するデザイン学専攻の科目の接続に必要な教育を行う。

（※地域創生Tech Programについて）

工芸学部においては、各課程の一般教育プログラムに加え、各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、またチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材を育成する学位プログラム「地域創生Tech Program」を設けている。当該学位プログラムは、各課程における専門科目と地域課題をテーマとしたセミナー科目や企業と共同したPBLによるものづくりインターンシップ科目を履修する構成となっており、理工学のような専門分野を学んだ人材が協働学習するPBLに重点をおき、各自の専門性を段階的に深化させる仕掛けを設けたプログラムである。

地域創成Tech Program枠の学生は、3年次前期までは一般プログラムと同様の方針のもと段階的に専門能力と連携能力を身につけさせる。3年次後期からは地域創成Tech Programのカリキュラムへと移行するが、3年次前期の段階で「プロジェクトデザインIII」でのPBL授業を経験した上で、3年次後期から「プロジェクトデザインIV」に対応する地域創成Tech ProgramのPBL授業「地域創生課題セミナーI・II」を受講することになる。

[図]年次進行・カリキュラム概要図



【教育方法の工夫・特色】

1年次にはデザイン、建築、ビジネス、テクノロジーの全てに必要な基礎的知識・技能について学びデザイン思考による教育を展開するための足場固めを行うため、デザイン、建築分野を跨いだ共通科目(デザイン・建築基礎実習(前期開講)、ソーシャルインタラクションデザイン概論(前期開講)、デザイン・建築表現演習(後期開講)、ソーシャルインタラクション演習(後期開講))を前・後期に亘って開講し、2年次以降にデザイン、建築それぞれのカリキュラムを選択する形式となっている。

デザインのカリキュラムでは、工業デザイン論、映像デザイン論、室内意匠計画、デザイン方法論等のデザイン理論科目や、日本美術史、西洋美術史等の芸術論科目、マーケティング論、経営戦略論等のマネジメント論科目、エンジニアリング概説、生産工学、人間情報科学等のエンジニアリング論科目によって、デザイン、ビジネス、テクノロジーに関する基礎的知識を身につける。プロジェクトデザインといった実習科目(PBL)によってデザイン、ビジネス、テクノロジーに関する実習で基礎的な技術及び他者との連携方法を学ぶ。建築のカリキュラムでは、建築計画、建築構造力学、住環境計画、建築史等の建築理論科目や、建築設計実習科目により建築に関する基礎的知識・技術を習得する。

前述の実習科目である「プロジェクトデザインⅠ～Ⅳ」「建築設計実習Ⅰ～Ⅳ」といったデザイン、建築それぞれのプログラムでは、2、3年次において段階的にデザイン、建築各分野の表現技術を学び、専門能力を高める。とりわけ、今回改組によりビジネス、テクノロジーの要素が組み合わさるデザイン分野においては、3年次に受講する「プロジェクトデザインⅡ、Ⅲ」において自らの能力をチームで活かす方法を学ぶ。

4年次には前述のとおり、「3×3制度」を活用し、博士前期課程のデザイン学専攻及び建築学専攻のカリキュラムを履修することができる。デザイン分野の学生は、卒業研究でそれぞれの専門性を深めた作品や論文を制作すると同時に、大学院科目として開講する各種企業や団体等との連携PBL授業「プロジェクトデザインA」で専門能力と連携能力を実践する機会を得る。

同じく、建築分野の学生も、学部4年次に卒業研究でそれぞれの専門性を深めた作品や論文を制作すると同時に、修士初年次「M0(エムゼロ)」として、建築学専攻(博士前期課程)のカリキュラムを履修することができる。保存再生技術や設備・構造設計技術のほか、より専門性の高い理論を学ぶ。

さらに、デザイン・建築両分野の学生ともに、世界的に活躍するデザイナーや建築家が指導する学内組織「KYOTO Design Lab」のプロジェクトのワークショップ等のプロジェクトに参加することができるなど、4年次の研究室配属後に異分野混合チームでの経験を積むことのできる機会を用意している。

【カリキュラム概要】

社会が希求する時代に応じたデザインに対応する「デザイン思考」によりモノの造形にとどまらず、ユーザを巻き込んだ新たなサービス等も含めたモノ・コトのデザインを展開できる人材像を踏まえ、学部段階における教育カリキュラムとして、デザイン、ビジネス、テクノロジー、建築の各分野における専門能力に加え、多様な関係者との連携によりイノベーションを実現するデザインの能力を身につけさせるために、各専門分野の講義および演習科目群と実習(PBL)授業を含む科目群を整備する。具体的には、課程専門科目として以下の基礎演習科目、建築実習科目、デザイン実習科目(PBL)、建築理論科目、デザイン理論科目、芸術論科目、マネジメント論科目、エンジニアリング論科目、スキルアップ演習科目、研究指導を置く。

◆基礎演習科目

デザインに関する基礎的な表現技術を身につけ、デザイン思考の土台を形成するための科目群である。専門導入科目「デザイン・建築基礎実習」においてデザインと建築に共通する平面構成及び製図、立体造形等の技術を学んだ後、「デザイン・建築表現演習」においてデザインと建築のいずれかを選択した上で、各分野の専門的な表現技術を習得する。「ソーシャルインタラクション概論」、「ソーシャルインタラクションデザイン演習」ではデザインとビジネス、テクノロジー各分野に係る座学、調査や実験、設計や制作の方法を学ぶことで分野横断の基礎的能力を身につける。

◆建築実習科目

「建築設計実習Ⅰ～Ⅲ」では建築の設計実習等を通じて建築造形にとって必要な基礎知識および技術を段階的に習得する。実習では小規模施設から都市設計に至るまでの建築設計課題を通じて、建築意匠設計、建築保存・再生計画・設計、環境工学・建築設備設計、建築構造設計など、建築に関する様々な技術を学び、建築造形に必要な表現・創造能力や問題を把握する論理性・分析能力の開発を目的とする。さらに「建築設計実習Ⅳ」では、Ⅰ～Ⅲで培った各分野の専門知識および技術が、建築設計においてどのような役割を果たしているかを、それぞれの専門に特化した実際的な制作体験を通して理解する。

◆デザイン実習科目（PBL）

分野横断型のチームでイノベーションを実現する方法を実践的に学ぶ科目群である。「プロジェクトデザインⅠ、Ⅱ」においては、デザインとビジネス、テクノロジーの全ての分野における課題解決の手法を身につけると同時に、各分野の技術・知識の連携方法を学ぶ。「プロジェクトデザインⅢ・Ⅳ」では、学生がデザインとビジネス、テクノロジーいずれかの専門家の立場でチームを構成し、異分野の専門家との連携により革新的な製品やサービスを開発する技術を身につける。全ての授業でデザインとビジネス、テクノロジーの各分野を専門とする教員が共同で指導にあたる。

◆建築理論科目

建築設計計画、伝統建築、建築設備、建築構造、環境デザインを柱に、建築に関わる理論を習得させる。「建築構造力学Ⅰ～Ⅲ」では、建築のみならずモノのデザインに必要な不可欠な構造力学の知識の修得を目指す。「建築計画Ⅰ、Ⅱ」では、建築物の企画・計画・設計における建築計画の位置づけをおこない、形態・機能・規模などに関する建築計画の重要なテーマに関する基礎的概念・理論、そして人間の行動や意識・心理と空間との相互関係について理解を深める。「環境調整Ⅰ、Ⅱ」「建築設備」「空気調整設備」では、建築とこれを取巻く外部環境の物理的関連性、室内環境と人間の感覚と知覚の関係について概説し、物理とヒトの生理・心理に基づく空間設計の必要性について理解を深める。「建築構造設計Ⅰ、Ⅱ」では建築構造設計の進め方について概説し、鉄筋コンクリート造建物を構造設計するための基本知識を獲得することを目的に、材料の力学的性質、許容応力度について理解し、設計用荷重、各種部位の構造設計、配筋などについて学ぶ。「西洋建築史」「日本建築史」「東洋建築史」「近代建築史」「都市史Ⅰ」「都市史Ⅱ」「都市史Ⅲ」等の歴史系科目では、主として地域毎、また時代毎の様式および技術を中心に理解を深める。「造形材料」では建築構造物に利用される各種構造材料の力学的性質、建築材料の素材的特性と用途および基本的な加工方法を理解する。

◆デザイン理論科目

製品、コンテンツ、空間等を生み出すために必要な技術的知識や意匠理論を、具体的事例を基に学ぶため、表現領域それぞれに対し、「製品技術論」、「視覚デザイン論」、「映像デザイン論」、「室内意匠計画」を配置する。新たなデザイン手法や思考方法といった学習においては、「コンピューショナルデザイン」、「デザイン方法論」等の方法論系授業を提供し、意匠の変遷といった歴史理論を学ぶために、「デザイン史」、「工業デザイン論」、「視覚形成論」を置く。

以上の科目は実践経験のある教員が行うことで、単なる理論にとどまらず、デザイン実習科目とも連携した具体的内容を提供する。

◆芸術論科目

古今東西の美術・デザイン作品、作家についての歴史的な知識の習得は、この科目群の基礎となり（「日本美術史」「西洋美術史」が対応）、同時に今日的な問題に対応するためには、現代美術全体を視野に入れてデザインとの関係を考察する必要がある（「現代芸術論」が対応）。それに加えて、京都という土地の特性を踏まえた歴史的また環境的なデザイン論として「庭園美学論」を設定し、また、デザインの現場でも多用される映像系の知識習得のために「写真・映画論」を設定している。さらに、それらで得た知識を踏まえてデザインについての感性論的判断という理論化についての手法も習得する（「感性論」が対応）。

芸術論科目の特性は、そのような広義での作品、作家についての研究に加えて、そのような作品、作家が、歴史的に、また、現代社会において、どのように呈示されてきたのかという問題を考えることにある。「現代美術館学」「博物館概論」という科目では、現代社会において芸術、デザインを考える際に不可欠である美術館・博物館の問題を取り扱う。

◆マネジメント論科目

デザイン成果の事業化などを図る際に必要となる知識や知見を、「事業企画論」、「マーケティング論」、「市場参入論」、「経営戦略論」や「デザインマネジメント」の各論から学ぶ。「経営戦略論」では、社会課題をテーマとしたビジネスにおける経営戦略にも触れるなど、社会課題への解決策の提供とビジネスの関係も意識できる授業を提供する。また、事業企画や事業運営などのプロジェクトの効率的・効果的なマネジメント手法であるプロジェクトマネジメントの基礎を「プロジェクトマネジメント」により習得させる。さらに、企業経営についての基礎的な知識を「企業経営学概論」「会計・財務基礎」で習得する。「ファシリティ経営論」により、デザイン成果を展開する場の創出などについても学ぶ。

これらにより、成果のビジネス展開ができるデザイナーとしての役割を担うための知識を習得することができる。

◆エンジニアリング論科目

モノづくりの根幹となる工学的プロセスの中で、特に重要となる資源の使用からモノの生産、モノの評価についての一連の知識を習得する。具体的には、「エンジニアリング概説」、「ものづくりの統計学」でテクノロジーの基礎を「資源環境論」、「材料工学」により適正資源の使用、使用材料の特性を、「生産工学」でモノの生産に関わる工学的知識を「人間情報科学」、「感覚工学」では生産されたモノやその使用に際する評価についての知識・手法を学ぶ。

習得したそれらの知識をより深め、身近なものにする為の実社会のモノづくりでの具体的事例を「デザイン経営工学事例研究」にて学習する。

◆スキルアップ演習科目

PBLを含む各実習で求められる技能を高め、実践力を補完する。「デザインプラクティスⅠ～Ⅳ」では表現技法の習得、さらに素材の特性理解に重きを置き、描画、図面、木工、陶芸、紙すき、撮影などに取り組む。「CAD/CG実習」、「情報処理演習」では、コンピュータを利用した基礎的かつ応用的なデザインスキルの獲得を目指す。「建築計画演習」、「伝統建築演習」では実際の建築物を見学し、実習等で培った知識と技術が現場でいかに利用されているかを学ぶ。「建築構造材料実験」では、建築物を構成する構造材料や部材について、いくつかの基礎的な実験を行い、それらの物理的特性を把握する。「建築環境工学演習」では講義で得た環境測定に関する知識を実際に体験し、実践と知識の統合をはかる。デザイン分野の学生で二級建築士受験資格希望する者を対象に開講する「建築設計製図Ⅰ～Ⅲ」では建築士受験資格を得るために最低限必要の設計の知識および技能を習得する。

◆研究指導

所定の単位を取得した4年次生は、これまで習得した知識や技術を活用して、自らが定めたテーマに基づき研究を行う。デザイン理論等の論文作成を主としたもの、建築設計やデザインプロジェクト等の作品制作を主体としたもののどちらかを学生が選択する。所属する研究室での指導とともに、中間試問などで多角的批評を加え、最終成果物は学外での展示、さらには学部講師を交えた講評を行う。

◆地域創生Tech Program

地域創成Tech Program卒の学生は、3年次前期までは一般プログラムと同様の方針のもと段階的に専門能力と連携能力を身につけさせる。3年次後期からは地域創生Tech Programのカリキュラムへと移行するが、3年次前期の段階で「プロジェクトデザインⅢ」でのPBL授業を経験した上で、3年次後期から「プロジェクトデザインⅣ」に対応する地域創生Tech ProgramのPBL授業「地域創生課題セミナーⅠ・Ⅱ」（企業等連携）を受講したうえで「卒業プロジェクト」を実施する。したがって、「卒業プロジェクト」は、各自の専門分野に応じて、企業等の課題解決への提案型プロジェクトとなる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>一般プログラム（デザイン） 英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の卒業研究8単位、選択科目から26単位以上（マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること）を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p> <p>地域創生Tech Program（デザイン） 英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト（8単位）の14単位、選択科目から26単位以上（マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること）を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p>	1学年の学期区分	2学期
<p>一般プログラム（建築） 英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の卒業研究の8単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p> <p>地域創生Tech Program（建築） 英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト（8単位）の14単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p>	1学期の授業期間	15週
<p>一般プログラム（建築） 英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の卒業研究の8単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p> <p>地域創生Tech Program（建築） 英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト（8単位）の14単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））</p>	1時限の授業時間	90分

【既設課程教育課程表：生体分子応用化学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部生体分子応用化学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語	Interactive English A	1前	1				○								兼6
	Interactive English B	1後	1				○								兼6
	Career English Basic	1前	1				○								兼5
	Academic English	1後	1				○								兼4
	Career English Intermediate	2前・後	1				○								兼4
	Career English Advanced	2前・後	1				○								兼4
	Active English CLIL	2前・後		1			○								兼4
	Active English Listening & Speaking I	2前・後		1			○								兼6
	Active English Listening & Speaking II	2前・後		1			○								兼4
	Active English Reading I	2前・後		1			○								兼4
	Active English Reading II	2前・後		1			○								兼8
	Active English Writing I	2前・後		1			○								兼4
	Active English Writing II	2前・後		1			○								兼4
Active English Project-Based Learning	2前・後		1			○								兼2	
言語教育科目	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前		1			○							兼4
		ドイツ語初級基礎B	1後		1			○							兼4
		ドイツ語初級演習A	1前		1			○							兼4
		ドイツ語初級演習B	1後		1			○							兼4
		ドイツ語中級A	2前		1			○							兼2
		ドイツ語中級B	2後		1			○							兼2
		ドイツ語上級A	3前		1			○							兼2
		ドイツ語上級B	3後		1			○							兼2
	フランス語	フランス語初級基礎A	1前		1			○							兼4
		フランス語初級基礎B	1後		1			○							兼4
		フランス語初級演習A	1前		1			○							兼3
		フランス語初級演習B	1後		1			○							兼3
		フランス語中級A	2前		1			○							兼2
フランス語中級B	2後		1			○							兼2		
フランス語上級A	3前		1			○							兼1		
フランス語上級B	3後		1			○							兼1		
中国語	中国語初級基礎A	1前		1			○							兼3	
	中国語初級基礎B	1後		1			○							兼3	
	中国語初級演習A	1前		1			○							兼2	
	中国語初級演習B	1後		1			○							兼2	
	中国語中級A	2前		1			○							兼2	
中国語中級B	2後		1			○							兼2		
	小計(36科目)	—	6	30	0		—		0	0	0	0	0	兼49	—
人間教養科目	工芸科学教養科目	工芸科学基礎	1前		1			○							兼4
		キャリア教育基礎	1前		1			○							兼2
		KITスタンダード	1後		2				○						兼6
		学習・キャリア戦略論	1後		2				○						兼1
		国際理解	1前		1				○						兼1
	人権教育	1前		2				○						兼1	
	科学技術と環境・倫理	地球環境論	1前		2				○						兼1
		環境マネジメント	3前		1				○						兼2
		環境問題と持続可能な社会	1前		2				○						兼1
		環境と法	1後		2				○						兼1
		環境論	1後		2				○						兼1
		情報セキュリティと情報倫理	1後		2				○						兼3
		生命倫理と環境倫理	2前		2				○						兼1
テクノロジー論		2後		2				○						兼1	
現代科学と倫理	1前		2				○						兼1		

【既設課程教育課程表：生体分子応用化学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部生体分子応用化学課程)

	ものづくりと技術戦略	ものづくりと設計工学	1後		2	○													兼9	
		ものづくりと造形科学	1前		2	○														兼14
	ものづくりと技術戦略	伝統産業概論Ⅰ	1前		2	○													兼1 集中	
		伝統産業概論Ⅱ	1後		2	○													兼8 集中	
		産学連携ものづくり実践	3前		4	○													兼1 ※実習	
		ものづくり加工実習	2後		2	○													兼3 ※実習	
		実践ユニバーサルデザイン	1前		2	○													兼1 集中	
		リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト	1前		2	○													兼10 ※演習
			リーダーシップ基礎Ⅱ	1後		2	○													兼2 ※演習
	知的財産経営論		1前		2	○													兼2	
	ベンチャー企業経営学		3後		2	○													兼1	
	リーダーシップ実践Ⅰ		1前		2	○													兼1 ※演習 集中	
	リーダーシップ実践Ⅱ		1後		2			○											兼2 集中	
	国際連携プロジェクト		4前		1			○											兼2 集中	
	京の伝統文化と先端	京のサステイナブルデザイン	2前		2	○													兼4	
		文化財学	2前		2	○													兼2 ※演習 集中	
		京の文化行政	2前		2	○													兼2 ※演習 集中	
		京の伝統工芸-技と美	3前		2	○													兼9 ※演習 集中	
		京の伝統工芸-知と美	4前		2	○													兼2 ※演習 集中	
		京の意匠	1後		2	○													兼1	
		京のまち	3後		2	○													兼5	
		京の知恵 伝統産業の先進的ものづくり	2後		2	○													兼1	
		京の産業技術史	1後		2	○													兼1	
		京の生活文化史	1前・後		2	○													兼1	
		京都の文学Ⅰ	1前		2	○													兼1	
		京都の文学Ⅱ	1後		2	○													兼1	
		京都の歴史Ⅰ	1前		2	○													兼3	
		京都の歴史Ⅱ	1後		2	○													兼3	
		現代京都論	1前		2	○													兼1	
		京都の農林業	1後		2	○													兼8	
		京都の自然と森林	1前		2	○													兼4	
		宗教と文化	1後		2	○													兼1	
		英語で京都	3後		2	○													兼1	
		近代京都と三大学	1前		2	○													兼5	
	京野菜を栽培する(リベラルアーツ・ゼミナール)	1前		1			○											兼2 ※実習 集中		
	京都の経済	1後		2	○													兼1		
	京都学・歴史館ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)	2後		2	○													兼1 ※演習		
	小計(52科目)	—		0	102	0	—			0	0	0	0	0	0			兼115	—	
基本教養科目	人と社会	法学	1前		2	○													兼2	
		憲法	1後		2	○													兼2	
		経済学	2前		2	○													兼1	
		心理学	1前		2	○													兼1	
		現代教育論	1前		2	○													兼1	
		政治学	1後		2	○													兼1	
		経済学入門	1後		2	○													兼1	
		国際政治	1前		2	○													兼1	
		生活と経済	1後		2	○													兼1	
		社会学Ⅰ	1前		2	○													兼1	
		社会学Ⅱ	1後		2	○													兼1	
		現代社会と心	1後		2	○														兼1
		現代社会とジェンダー	1前		2	○														兼6

【既設課程教育課程表：生体分子応用化学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部生体分子応用化学課程)

	食環境をめぐる国際社会と日本	1前	2	○							兼2	
	人文地理学Ⅰ	1前	2	○							兼2	
	人文地理学Ⅱ	1後	2	○							兼1	
	医史学	1前	2	○							兼1	
	発達心理学	1前	2	○							兼1	集中
	社会科学の学び方（リベラル アーツ・ゼミナール）	1後	2	○							兼1	※演習
	現代社会と映画製作（リベラ ルアーツ・ゼミナール）	1前	1	○							兼1	※演習 集中
	アメリカと中国はいま（リベ ラルアーツ・ゼミナール）	1後	1	○							兼1	※演習 集中
	現代イスラーム世界の文化と社会 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前	1	○							兼1	※演習 集中
	経営哲学（リベラルアーツ・ ゼミナール）	2前	2	○							兼1	※演習
	哲学	1後	2	○							兼1	
	歴史学	1後	2	○							兼2	集中
	舞台芸術論	3前	2	○							兼1	
	日本近代精神史	1前	2	○							兼1	
	美と芸術	1前	2	○							兼1	
	比較宗教学	1前	2	○							兼1	
	西洋文学論	1前	2	○							兼1	
	日本近現代文学	1前	2	○							兼1	
	科学と思想（リベラルア ーツ・ゼミナール）	1後	2	○							兼1	※演習
	東西文化交流史	1後	2	○							兼1	
人 と 文 化	西洋文化論	1後	2	○							兼1	
	日本史	1前	2	○							兼1	
	フランス語圏の文化とジャポニスム	2前	2	○							兼1	
	アジアの歴史と文化	1前	2	○							兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化	1後	2	○							兼3	
	映画で学ぶ英語と文化	3後	2	○							兼1	
	映画で学ぶドイツ語と文化	3前	2	○							兼1	
	日本文学Ⅰ	1前	2	○							兼1	
	日本文学Ⅱ	1後	2	○							兼1	
	ラテン語	1後	2	○							兼1	
	文芸創作論	1後	2	○							兼1	
	現代社会に学ぶ問う力・書く力 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前・後	2	○							兼1	※演習
	感性の実践哲学（リベラルア ーツ・ゼミナール）	1前	1	○							兼1	※演習 集中
人 と 自 然	人と自然と数学α	1前	2	○							兼1	
	人と自然と数学β	1後	2	○							兼1	
	人と自然と物理学	1後	2	○							兼2	
	化学概論Ⅰ	1前	2	○							兼1	
	化学概論Ⅱ	1後	2	○							兼1	
	生物学概論Ⅰ	1前	2	○							兼1	
	生物学概論Ⅱ	1後	2	○							兼1	
	地球の科学	1後	2	○							兼1	
	エネルギー科学	1前	2	○							兼1	
	科学史	1後	2	○							兼1	
	物理学Ⅰ	1前	2	○							兼1	
	食と健康の科学	1前	2	○							兼4	
	生命科学講話	1前	2	○							兼15	集中
	時間生物学特論	3前	2	○							兼1	集中
	生物学的人間学	1前	2	○							兼1	
	医学概論	2後	2	○							兼1	
意外と知らない植物の世界	1後	2	○							兼5		
製品の機能から科学を学ぶ（リ ベラルアーツ・ゼミナール）	1後	2	○							兼1	※演習	

【既設課程教育課程表：生体分子応用化学課程】

教育課程等の概要(事前伺い)

(工芸学部生体分子応用化学課程)

		小計(64科目)	—	0	124	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼84	—
	体の科学	キャンパスヘルス概論	1前		2		○									兼1	
		健康体力科学	2後		2		○									兼2	
		生涯スポーツ	2前・後		2		○									兼5	※演習
		生体行動科学	2前		2		○									兼2	
		スポーツ科学Ⅰ	1前		2		○									兼6	※演習
		スポーツ科学Ⅱ	1後		2		○									兼3	※演習
		小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
専門教育科目	専門導入	専門導入ゼミ	1後	2			○		8	7			4		兼49		
		地域課題導入セミナー	1前	1				○							兼3	集中地域創生のみのみ	
	小計(1科目+1科目(地域創生))	—	3	0	0	—	—	—	8	7	0	4	0	兼52	—		
専門基礎科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前		2		○									兼3	
		基礎解析Ⅱ	1後		2		○									兼3	
		線形代数学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		線形代数学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		数学演習Ⅰ	1前		2		○									兼3	※演習
		数学演習Ⅱ	1後		2		○									兼3	※演習
		解析学Ⅰ	2前		2		○									兼1	
		解析学Ⅱ	2後		2		○									兼1	
		統計数理	2前		2		○									兼1	
		応用解析	2前		2		○									兼1	
		応用幾何	2後		2		○									兼1	
		応用数理	3前		2		○									兼1	
		数理応用代数	4後		2		○									兼1	
		数理応用幾何	4後		2		○									兼1	
	数理応用解析	4後		2		○									兼1		
	数理応用統計	4後		2		○									兼1		
	数理応用演習	4前		1		○									兼4	※演習	
	物理学	基礎力学	1前		2		○									兼4	
		基礎力学演習	1前		2		○									兼4	※演習
		基礎電磁気学	1後		2		○									兼3	
		基礎電磁気学演習	1後		2		○									兼3	※演習
		物理学基礎実験A	2後	2					○							兼5	共同
		量子力学	2後		2		○									兼1	
	化学	化学Ⅰ	1前	2			○			1						兼1	
		化学Ⅱ	1後	2			○				1					兼2	
		物理化学Ⅰ	2前	2			○			1	1						
		物理化学Ⅱ	2後		2		○			1							
物理化学演習		2後		2		○			1	3		1				※演習	
有機化学Ⅰ		2前	2			○			1								
有機化学Ⅱ		2後		2		○				1							
化学工学Ⅰ		2後		2		○			1	1							
無機化学		2前		2		○										兼1	
分析化学		1後		2		○			1						兼2		
化学基礎実験	2前	2					○	8	7		4				共同		
環境化学	3後		2		○									兼1			
生物学	生物学Ⅰ	1前		2		○									兼4		
	生物学Ⅱ	1後		2		○									兼4		
	生物化学Ⅰ	2前		2		○			1								
	生物化学Ⅱ	2後		2		○			1	1							
	資源生物と環境	1後		2		○									兼4		
	生物学基礎実験A	4前			2			○							兼31	共同、教職用	
情報	情報処理演習	1前	2			○						2			兼5	※演習	
	学術国際情報	3前	2			○				2		2				※演習	
	地学Ⅰ	4前			2	○									兼1	教職用	

【既設課程教育課程表：生体分子応用化学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部生体分子応用化学課程)

その他	地学Ⅱ	4前		2	○							兼1	集中、 教職用
	地学実験	4前		2	○							兼2	※実験 集中、教 職用
	インターンシップA	3前	1			○	1						
	インターンシップB	3前	2			○	1						
繊維科学プログラム科目	繊維ナノ構造学	3後		2	○							兼1	
	繊維プロセス工学	4前		2	○							兼15	オムニバス
	繊維生産流通システム概論	3後		2	○							兼1	集中
	クロウジングサイエンス	4前		2	○							兼2	オムニバス
	繊維科学実験	4前		2	○							兼1	※実験 集中
知的財産	アントレプレナーシップ概論	2前		2	○							兼1	地域創生 選択
	知的財産概論Ⅰ	2前		2	○							兼1	地域創生 選択
	知的財産概論Ⅱ	2後		2	○							兼1	地域創生 選択
	特許法・実用新案法Ⅰ	2前		2	○							兼1	地域創生 選択
	特許法・実用新案法Ⅱ	2後		2	○							兼1	地域創生 選択
	知的財産演習	3後		1		○						兼1	地域創生 選択
	民法概論Ⅰ	2前		2	○							兼1	地域創生 選択
民法概論Ⅱ	2後		2	○							兼1	地域創生 選択	
複合材料	繊維科学概論	3後		1	○							兼1	地域創生 のみ
	複合材料科学	3後		2	○							兼1	地域創生 のみ
	先端複合材料学	3後		2	○							兼1	地域創生 のみ
	複合材料基礎実験	3後		1		○						兼1	地域創生 のみ
	複合材料ものづくり実験	4前		1		○						兼1	地域創生 のみ
小計（61科目+5科目(地域創生)）		—	16	87	23	—	8	7	0	4	0	兼102	—
課程専門科目	必修科目	生体分子応用化学序論	2前	2		○		8	7		4		
		発展ゼミ	2前	2		○		8	7		4		※演習
		生体分子応用化学実験Ⅰ	3前	4			○	8	7		4		共同
		生体分子応用化学実験Ⅱ	3後	4			○	8	7		4		共同 地域創生 選択
	卒業研究	4通	8			○	8	7		4		地域創生 除く	
選択必修科目A	高分子化学	2前		2	○		1					兼1	
	高分子物性	2後		2	○							兼2	
	有機反応機構Ⅰ	3前		2	○			1					
	有機反応機構Ⅱ	3前		2	○			1					
	生物有機化学	3後		2	○		1						
	高分子合成化学	3前		2	○		1						
	高分子材料化学	3前		2	○		1						
	有機分光分析	3後		2	○			1					
	精密合成化学	3後		2	○		1						
	有機化学ゼミ	2後		2	○		1			1		※演習	
生体分子認識化学	3前		2	○			1			1			
生体機能物質化学	3前		2	○			1						
蛋白質分子工学	3前		2	○		2	1						

【既設課程教育課程表：生体分子応用化学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部生体分子応用化学課程)

選択 必修 科目 B	生物物理化学	3前		2		○			1										
	生物無機化学	3前		2		○			1										
	核酸分子工学	3前		2		○				1									
	糖鎖分子工学	3後		2		○					1							兼1	
	生物化学工学	3後		2		○				1		1							
	化学工学Ⅱ	3前		2		○				1		1							
	医用材料工学	4前		2		○												兼2	
技術者倫理	3後		2		○													兼1	
地域創生 T e c h P r o j e c t	地域創生課題セミナーⅠ	3後	2				○											兼2	地域創生のみ
	地域創生課題セミナーⅡ	4前	2				○											兼2	地域創生のみ
	ものづくりインターンシップⅠ	3後	4					○										兼2	地域創生のみ
	ものづくりインターンシップⅡ	4前	4					○										兼2	地域創生のみ
	卒業プロジェクト	4通	8					○		8	7		4					兼2	地域創生のみ
小計(26科目+5科目(地域創生))	—	34	48	0		—			8	7	0	4	0				兼9	—	
教職に関する科目	現代教師論	1後			2	○												兼1	集中
	教育原論	1前			2	○												兼1	
	日本教育史	1前			2	○												兼1	集中
	教育心理学	1後			2	○												兼1	
	教育社会学	1前			2	○												兼1	集中
	教育課程論	1前			2	○												兼1	集中
	理科教育法ⅠA	3前			2	○												兼1	
	理科教育法ⅠB	3後			2	○												兼2	
	理科教育法Ⅱ	2前・後			4	○												兼1	
	道德教育研究	1後			2	○												兼1	
	特別活動論	1前			2	○												兼1	集中
	教育方法論	1後			2	○												兼1	集中
	視聴覚教育概説	1後			2	○												兼1	集中
	生徒指導	1前			2	○												兼1	集中
	教育相談論	1前			2	○												兼1	集中
	教職実践演習(中・高)	4後			2			○										兼4	集中
	教育実習Ⅰ	4前			4				○									兼1	
教育実習Ⅱ	4前			2				○									兼1		
教育実習Ⅲ	4前			1				○									兼1	集中	
小計(19科目)	—	0	0	41		—			0	0	0	0	0				兼15	—	
合計(265科目+11科目(地域創生))	—	59	401	64		—			8	7	0	4	0				兼407	—	
学位又は称号	学士(工学)	学位又は学科の分野		工学関係															

【既設課程教育課程表：高分子機能工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い） (工学科学部高分子機能工学課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
英語	Interactive English A	1前	1				○							兼6
	Interactive English B	1後	1				○							兼6
	Career English Basic	1前	1				○							兼5
	Academic English	1後	1				○							兼4
	Career English Intermediate	2前・後	1				○							兼4
	Career English Advanced	2前・後	1				○							兼4
	Active English CLIL	2前・後		1			○							兼4
	Active English Listening & Speaking I	2前・後		1			○							兼6
	Active English Listening & Speaking II	2前・後		1			○							兼4
	Active English Reading I	2前・後		1			○							兼4
	Active English Reading II	2前・後		1			○							兼8
	Active English Writing I	2前・後		1			○							兼4
	Active English Writing II	2前・後		1			○							兼4
	Active English Project-Based Learning	2前・後		1			○							兼2
言語教育科目	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前		1			○						兼4
		ドイツ語初級基礎B	1後		1			○						兼4
		ドイツ語初級演習A	1前		1			○						兼4
		ドイツ語初級演習B	1後		1			○						兼4
		ドイツ語中級A	2前		1			○						兼2
		ドイツ語中級B	2後		1			○						兼2
		ドイツ語上級A	3前		1			○						兼2
		ドイツ語上級B	3後		1			○						兼2
フランス語	フランス語初級基礎A	1前		1			○						兼4	
	フランス語初級基礎B	1後		1			○						兼4	
	フランス語初級演習A	1前		1			○						兼3	
	フランス語初級演習B	1後		1			○						兼3	
	フランス語中級A	2前		1			○						兼2	
	フランス語中級B	2後		1			○						兼2	
	フランス語上級A	3前		1			○						兼1	
	フランス語上級B	3後		1			○						兼1	
中国語	中国語初級基礎A	1前		1			○						兼3	
	中国語初級基礎B	1後		1			○						兼3	
	中国語初級演習A	1前		1			○						兼2	
	中国語初級演習B	1後		1			○						兼2	
	中国語中級A	2前		1			○						兼2	
	中国語中級B	2後		1			○						兼2	
小計(36科目)		一	6	30	0		一		0	0	0	0	0	兼49
人間教養科目	工学科学教養科目	工学科学基礎	1前		1		○			1				兼3
		キャリア教育基礎	1前		1		○							兼2
		KITスタンダード	1後		2			○						兼6
		学習・キャリア戦略論	1後		2			○						兼1
		国際理解	1前		1			○						兼1
		人権教育	1前		2			○						兼1
		地球環境論	1前		2			○						兼1
	科学技術と環境・倫理	環境マネジメント	3前		1			○						兼2
		環境問題と持続可能な社会	1前		2			○						兼1
		環境と法	1後		2			○						兼1
		環境論	1後		2			○						兼1
		情報セキュリティと情報倫理	1後		2			○						兼3
		生命倫理と環境倫理	2前		2			○						兼1
		テクノロジー論	2後		2			○						兼1

【既設課程教育課程表：高分子機能工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）													
（工芸科学部高分子機能工学課程）													
ものづくりと技術戦略	現代科学と倫理	1前		2		○						兼1	
	ものづくりと設計工学	1後		2		○						兼9	
	ものづくりと造形科学	1前		2		○						兼14	
	伝統産業概論Ⅰ	1前		2		○						兼1 集中	
	伝統産業概論Ⅱ	1後		2		○						兼8 集中	
	産学連携ものづくり実践	3前		4		○						兼1 ※実習	
	ものづくり加工実習	2後		2		○						兼3 ※実習	
	実践ユニバーサルデザイン	1前		2		○						兼1 集中	
	リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト	1前		2		○						兼10 ※演習
		リーダーシップ基礎Ⅱ	1後		2		○						兼2 ※演習
		知的財産経営論	1前		2		○						兼2
		ベンチャー企業経営学	3後		2		○						兼1
		リーダーシップ実践Ⅰ	1前		2		○						兼1 ※演習 集中
		リーダーシップ実践Ⅱ	1後		2				○				兼2 集中
		国際連携プロジェクト	4前		1			○					兼2 集中
	京の伝統文化と先端	京のサステナブルデザイン	2前		2		○						兼4
		文化財学	2前		2		○						兼2 ※演習 集中
		京の文化行政	2前		2		○						兼2 ※演習 集中
		京の伝統工芸-技と美	3前		2		○						兼9 ※演習 集中
		京の伝統工芸-知と美	4前		2		○						兼2 ※演習 集中
		京の意匠	1後		2		○						兼1
		京のまち	3後		2		○						兼5
		京の知恵 伝統産業の先進的ものづくり	2後		2		○						兼1
		京の産業技術史	1後		2		○						兼1
		京の生活文化史	1前・後		2		○						兼1
		京都の文学Ⅰ	1前		2		○						兼1
		京都の文学Ⅱ	1後		2		○						兼1
京都の歴史Ⅰ		1前		2		○						兼3	
京都の歴史Ⅱ		1後		2		○						兼3	
現代京都論		1前		2		○						兼1	
京都の農林業		1後		2		○						兼8	
京都の自然と森林		1前		2		○						兼4	
宗教と文化		1後		2		○						兼1	
英語で京都		3後		2		○						兼1	
近代京都と三大学		1前		2		○						兼5	
京野菜を栽培する（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前		1				○				兼2 ※実習 集中		
京都の経済	1後		2		○						兼1		
京都学・歴彩館ゼミ（リベラルアーツ・ゼミナール）	2後		2		○						兼1 ※演習		
小計（52科目）	—	0	102	0	—		1	0	0	0	0	兼114	
基本教養科目	人と社会	1前		2		○						兼2	
	憲法	1後		2		○						兼2	
	経済学	2前		2		○						兼1	
	心理学	1前		2		○						兼1	
	現代教育論	1前		2		○						兼1	
	政治学	1後		2		○						兼1	
	経済学入門	1後		2		○						兼1	
	国際政治	1前		2		○						兼1	
	生活と経済	1後		2		○						兼1	
	社会学Ⅰ	1前		2		○						兼1	
	社会学Ⅱ	1後		2		○						兼1	

【既設課程教育課程表：高分子機能工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部高分子機能工学課程)

	現代社会と心	1後	2	○						兼1
	現代社会とジェンダー	1前	2	○						兼6
	食環境をめぐる国際社会と日本	1前	2	○						兼2
	人文地理学Ⅰ	1前	2	○						兼2
	人文地理学Ⅱ	1後	2	○						兼1
	医史学	1前	2	○						兼1
	発達心理学	1前	2	○						兼1 集中
	社会科学の学び方（リベラル アーツ・ゼミナール）	1後	2	○						兼1 ※演習
	現代社会と映画製作（リベラ ルアーツ・ゼミナール）	1前	1	○						兼1 ※演習 集中
	アメリカと中国はいま（リベ ラルアーツ・ゼミナール）	1後	1	○						兼1 ※演習 集中
	現代イスラーム世界の文化と 社会（リベラルアーツ・ゼミ ナール）	1前	1	○						兼1 ※演習 集中
	経営哲学（リベラルアーツ・ ゼミナール）	2前	2	○						兼1 ※演習
人 と 文 化	哲学	1後	2	○						兼1
	歴史学	1後	2	○						兼2 集中
	舞台芸術論	3前	2	○						兼1
	日本近代精神史	1前	2	○						兼1
	美と芸術	1前	2	○						兼1
	比較宗教学	1前	2	○						兼1
	西洋文学論	1前	2	○						兼1
	日本近現代文学	1前	2	○						兼1
	科学と思想（リベラルア ーツ・ゼミナール）	1後	2	○						兼1 ※演習
	東西文化交流史	1後	2	○						兼1
	西洋文化論	1後	2	○						兼1
	日本史	1前	2	○						兼1
	フランス語圏の文化とジャポニスム	2前	2	○						兼1
	アジアの歴史と文化	1前	2	○						兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後	2	○						兼3
	映画で学ぶ英語と文化	3後	2	○						兼1
	映画で学ぶドイツ語と文化	3前	2	○						兼1
	日本文学Ⅰ	1前	2	○						兼1
	日本文学Ⅱ	1後	2	○						兼1
	ラテン語	1後	2	○						兼1
文芸創作論	1後	2	○						兼1	
現代社会に学ぶ問う力・書く力 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前・後	2	○						兼1 ※演習	
感性の実践哲学（リベラル アーツ・ゼミナール）	1前	1	○						兼1 ※演習 集中	
人 と 自 然	人と自然と数学α	1前	2	○						兼1
	人と自然と数学β	1後	2	○						兼1
	人と自然と物理学	1後	2	○						兼2
	化学概論Ⅰ	1前	2	○						兼1
	化学概論Ⅱ	1後	2	○						兼1
	生物学概論Ⅰ	1前	2	○						兼1
	生物学概論Ⅱ	1後	2	○						兼1
	地球の科学	1後	2	○						兼1
	エネルギー科学	1前	2	○						兼1
	科学史	1後	2	○						兼1
	物理学Ⅰ	1前	2	○						兼1
	食と健康の科学	1前	2	○						兼4
	生命科学講話	1前	2	○						兼15 集中
	時間生物学特論	3前	2	○						兼1 集中

【既設課程教育課程表：高分子機能工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部高分子機能工学課程)

		生物学の人間学	1前		2		○								兼1
		医学概論	2後		2		○								兼1
		意外と知らない植物の世界	1後		2		○								兼5
		製品の機能から科学を学ぶ（リベラルアーツ・ゼミナール）	1後		2		○								兼1 ※演習
		小計（64科目）	—	0	124	0	—		0	0	0	0	0	0	兼84 —
	体の科学	キャンパスヘルス概論	1前		2		○								兼1
		健康体力科学	2後		2		○								兼2
		生涯スポーツ	2前・後		2		○								兼5 ※演習
		生体行動科学	2前		2		○								兼2
		スポーツ科学Ⅰ	1前		2		○								兼6 ※演習
		スポーツ科学Ⅱ	1後		2		○								兼3 ※演習
		小計（6科目）	—	0	12	0	—		0	0	0	0	0	兼9 —	
専門教育科目	専門導入	専門導入ゼミ	1後	2			○		7	9		5		兼47	
		地域課題導入セミナー	1前	1			○							兼3 集中・地域創生のみ	
		小計（1科目+1科目（地域創生））	—	3	0	0	—		7	9	0	5	0	兼50 —	
専門基礎科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前		2		○								兼3
		基礎解析Ⅱ	1後		2		○								兼3
		線形代数学Ⅰ	1前		2		○								兼1
		線形代数学Ⅱ	1後		2		○								兼1
		数学演習Ⅰ	1前		2		○								兼3 ※演習
		数学演習Ⅱ	1後		2		○								兼3 ※演習
		解析学Ⅰ	2前		2		○								兼3
		解析学Ⅱ	2後		2		○								兼3
		統計数理	2前		2		○								兼1
		応用解析	2前		2		○								兼1
		応用幾何	2後		2		○								兼1
		応用数理	3前		2		○								兼1
		数理応用解析	4後		2		○								兼1
	物理学	基礎力学	1前		2		○		1	1					兼2
		基礎力学演習	1前		2		○			1		1			兼2 ※演習
		基礎電磁気学	1後		2		○								兼3
		基礎電磁気学演習	1後		2		○								兼3 ※演習
		量子力学	2後		2		○								兼1
		物理学基礎実験A	2前	2				○	1	1		1			兼2 共同
	化学	化学Ⅰ	1前	2			○								兼2
		化学Ⅱ	1後	2			○								兼3
		物理化学Ⅰ	2前		2		○		1	1					
		物理化学Ⅱ	2後		2		○		1	1					
		物理化学演習	2後		2		○		1	3		2			※演習
		有機化学Ⅰ	2前		2		○								兼1
		有機化学Ⅱ	2後		2		○								兼1
		化学工学Ⅰ	2後		2		○								兼2
		無機化学	2前		2		○								兼1
		分析化学	1後		2		○								兼3
環境化学	3後		2		○								兼1		
		化学基礎実験	2後	2			○							19 共同	
情報	情報処理演習	1前	2			○			2		1			兼4 ※演習	
	学術国際情報	3前	2			○			2		1			※演習	
生物学	生物学Ⅰ	1前		2		○								兼4	
	生物学Ⅱ	1後		2		○								兼4	
	生物化学Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	生物化学Ⅱ	2後		2		○								兼2	
	資源生物と環境	1後		2		○								兼4	
	生物学基礎実験A	4前		2			○							兼31 共同、教職用	

【既設課程教育課程表：高分子機能工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）														
（工芸科学部高分子機能工学課程）														
選択 必修 科目 B	高分子化学	2前		2		○				1				兼1
	環境と高分子	3後		2		○				1				
	ファイバーサイエンス	4前		2		○			1	1				
	高分子分子物性	3前		2		○			1					
	高分子有機化学	3前		2		○								兼1
	構造物理化学	3前		2		○			1					
	高分子材料化学	3後		2		○				1				
	機能設計化学	3後		2		○			1					
フォトニクス物理化学	3後		2		○					1				
技術者倫理	3後		2		○									兼1
地域創生 T e c h P r o j e c t	地域創生課題セミナーⅠ	3後	2			○								兼2 地域創生のみ
	ものづくりインターンシップⅠ	4前	4				○							兼2 地域創生のみ
	地域創生課題セミナーⅡ	3後	2			○								兼2 地域創生のみ
	ものづくりインターンシップⅡ	4前	4				○							兼2 地域創生のみ
	卒業プロジェクト	4通	8				○		7	9		5		兼2 地域創生のみ
小計（25科目+5科目（地域創生））	—	34	44	0	—	—	—	7	9	0	5	0	兼8	—
教職に 関する 科目	現代教師論	1後			2	○								兼1 集中
	教育原論	1前			2	○								兼1
	日本教育史	1前			2	○								兼1 集中
	教育心理学	1後			2	○								兼1
	教育社会学	1前			2	○								兼1 集中
	教育課程論	1前			2	○								兼1 集中
	理科教育法ⅠA	3前			2	○								兼1
	理科教育法ⅠB	3後			2	○								兼2
	理科教育法Ⅱ	2前・後			4	○								兼1
	道徳教育研究	1後			2	○								兼1
	特別活動論	1前			2	○								兼1 集中
	教育方法論	1後			2	○								兼1 集中
	視聴覚教育概説	1後			2	○								兼1 集中
	生徒指導	1前			2	○								兼1 集中
	教育相談論	1前			2	○								兼1 集中
	教職実践演習（中・高）	4後			2		○							兼4 集中
	教育実習Ⅰ	4前			4			○						兼1
	教育実習Ⅱ	4前			2			○						兼1
	教育実習Ⅲ	4前			1			○						兼1 集中
小計（19科目）	—	0	0	41	—	—	—	0	0	0	0	0	兼15	—
合計（260科目+11科目（地域創生））	—	55	394	64	—	—	—	7	9	0	5	0	兼395	—
学位又は称号	学士(工学)			学位又は学科の分野				工学関係						

【既設課程教育課程表：物質工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い） （工芸科学部物質工学課程）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語教育科目	英語	Interactive English A	1前	1				○							兼6
		Interactive English B	1後	1				○							兼6
		Career English Basic	1前	1				○							兼5
		Academic English	1後	1				○							兼4
		Career English Intermediate	2前・後	1				○							兼4
		Career English Advanced	2前・後	1				○							兼4
		Active English CLIL	2前・後		1			○							兼4
		Active English Listening & Speaking I	2前・後		1			○							兼6
		Active English Listening & Speaking II	2前・後		1			○							兼4
		Active English Reading I	2前・後		1			○							兼4
		Active English Reading II	2前・後		1			○							兼8
		Active English Writing I	2前・後		1			○							兼4
		Active English Writing II	2前・後		1			○							兼4
	Active English Project-Based Learning	2前・後		1			○							兼2	
	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前		1			○							兼4
		ドイツ語初級基礎B	1後		1			○							兼4
		ドイツ語初級演習A	1前		1			○							兼4
		ドイツ語初級演習B	1後		1			○							兼4
		ドイツ語中級A	2前		1			○							兼2
		ドイツ語中級B	2後		1			○							兼2
		ドイツ語上級A	3前		1			○							兼2
		ドイツ語上級B	3後		1			○							兼2
	フランス語	フランス語初級基礎A	1前		1			○							兼4
		フランス語初級基礎B	1後		1			○							兼4
		フランス語初級演習A	1前		1			○							兼3
		フランス語初級演習B	1後		1			○							兼3
		フランス語中級A	2前		1			○							兼2
		フランス語中級B	2後		1			○							兼2
		フランス語上級A	3前		1			○							兼1
		フランス語上級B	3後		1			○							兼1
	中国語	中国語初級基礎A	1前		1			○							兼3
		中国語初級基礎B	1後		1			○							兼3
		中国語初級演習A	1前		1			○							兼2
		中国語初級演習B	1後		1			○							兼2
		中国語中級A	2前		1			○							兼2
		中国語中級B	2後		1			○							兼2
小計（36科目）		—	6	30	0	—			0	0	0	0	0	兼49	—
人間教養科目	工芸科学教養科目	工芸科学基礎	1前		1			○							兼4
		キャリア教育基礎	1前		1			○							兼2
		KITスタンダード	1後		2				○						兼6
		学習・キャリア戦略論	1後		2				○						兼1
		国際理解	1前		1					○		1			※演習
		人権教育	1前		2				○						兼1
	科学技術と環境・倫理	地球環境論	1前		2				○						兼1
		環境マネジメント	3前		1				○						兼2
		環境問題と持続可能な社会	1前		2				○						兼1
		環境と法	1後		2				○						兼1
		環境論	1後		2				○						兼1
		情報セキュリティと情報倫理	1後		2				○						兼3
		生命倫理と環境倫理	2前		2				○						兼1
		テクノロジー論	2後		2				○						兼1
		現代科学と倫理	1前		2				○						兼1

【既設課程教育課程表：物質工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）												
（工芸科学部物質工学課程）												
ものづくりと技術戦略	ものづくりと設計工学	1後		2	○						兼9	
	ものづくりと造形科学	1前		2	○						兼14	
	伝統産業概論Ⅰ	1前		2	○						兼1 集中	
	伝統産業概論Ⅱ	1後		2	○						兼8 集中	
	産学連携ものづくり実践	3前		4	○						兼1 ※実習	
	ものづくり加工実習	2後		2	○						兼3 ※実習	
	実践ユニバーサルデザイン	1前		2	○						兼1 集中	
	リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト	1前		2	○						兼10 ※演習
		リーダーシップ基礎Ⅱ	1後		2	○						兼2 ※演習
		知的財産経営論	1前		2	○						兼2
		ベンチャー企業経営学	3後		2	○						兼1
		リーダーシップ実践Ⅰ	1前		2	○						兼1 ※演習 集中
		リーダーシップ実践Ⅱ	1後		2			○				兼2 集中
		国際連携プロジェクト	4前		1		○					兼2 集中
	京の伝統文化と先端	京のサステナブルデザイン	2前		2	○						兼4
		文化財学	2前		2	○						兼2 ※演習 集中
		京の文化行政	2前		2	○						兼2 ※演習 集中
		京の伝統工芸-技と美	3前		2	○						兼9 ※演習 集中
		京の伝統工芸-知と美	4前		2	○						兼2 ※演習 集中
		京の意匠	1後		2	○						兼1
		京のまち	3後		2	○						兼5
		京の知恵 伝統産業の先進的ものづくり	2後		2	○						兼1
		京の産業技術史	1後		2	○						兼1
京の生活文化史		1前・後		2	○						兼1	
京都の文学Ⅰ		1前		2	○						兼1	
京都の文学Ⅱ		1後		2	○						兼1	
京都の歴史Ⅰ		1前		2	○						兼3	
京都の歴史Ⅱ		1後		2	○						兼3	
現代京都論		1前		2	○						兼1	
京都の農林業		1後		2	○						兼8	
京都の自然と森林		1前		2	○						兼4	
宗教と文化		1後		2	○						兼1	
英語で京都		3後		2	○						兼1	
近代京都と三大学		1前		2	○						兼5	
京野菜を栽培する（リベラルアーツ・ゼミナール）	1前		1		○					兼2 ※実習 集中		
京都の経済	1後		2	○						兼1		
京都学・歴彩館ゼミ（リベラルアーツ・ゼミナール）	2後		2	○						兼1 ※演習		
小計（52科目）	—	0	102	0	—		1	0	0	0	兼114	
基本教養科目	人と社会	法学	1前		2	○						兼2
		憲法	1後		2	○						兼2
		経済学	2前		2	○						兼1
		心理学	1前		2	○						兼1
		現代教育論	1前		2	○						兼1
		政治学	1後		2	○						兼1
		経済学入門	1後		2	○						兼1
		国際政治	1前		2	○						兼1
		生活と経済	1後		2	○						兼1
		社会学Ⅰ	1前		2	○						兼1
		社会学Ⅱ	1後		2	○						兼1
		現代社会と心	1後		2	○						兼1

【既設課程教育課程表：物質工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）									
（工芸科学部物質工学課程）									
	現代社会とジェンダー	1前		2	○				兼6
	食環境をめぐる国際社会と日本	1前		2	○				兼2
	人文地理学Ⅰ	1前		2	○				兼2
	人文地理学Ⅱ	1後		2	○				兼1
	医史学	1前		2	○				兼1
	発達心理学	1前		2	○				兼1 集中
	社会科学の学び方（リベラル アーツ・ゼミナール）	1後		2	○				兼1 ※演習
	現代社会と映画製作（リベラル アーツ・ゼミナール）	1前		1	○				兼1 ※演習 集中
	アメリカと中国はいま（リベラル アーツ・ゼミナール）	1後		1	○				兼1 ※演習 集中
	現代イスラーム世界の文化と社会 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前		1	○				兼1 ※演習 集中
	経営哲学（リベラルアーツ・ ゼミナール）	2前		2	○				兼1 ※演習
	哲学	1後		2	○				兼1
	歴史学	1後		2	○				兼2 集中
	舞台芸術論	3前		2	○				兼1
	日本近代精神史	1前		2	○				兼1
	美と芸術	1前		2	○				兼1
	比較宗教学	1前		2	○				兼1
	西洋文学論	1前		2	○				兼1
	日本近現代文学	1前		2	○				兼1
	科学と思想（リベラルアーツ・ ゼミナール）	1後		2	○				兼1 ※演習
	東西文化交流史	1後		2	○				兼1
	西洋文化論	1後		2	○				兼1
	日本史	1前		2	○				兼1
	フランス語圏の文化とジャポニスム	2前		2	○				兼1
	アジアの歴史と文化	1前		2	○				兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後		2	○				兼3
	映画で学ぶ英語と文化	3後		2	○				兼1
	映画で学ぶドイツ語と文化	3前		2	○				兼1
	日本文学Ⅰ	1前		2	○				兼1
	日本文学Ⅱ	1後		2	○				兼1
	ラテン語	1後		2	○				兼1
	文芸創作論	1後		2	○				兼1
	現代社会に学ぶ問う力・書く力 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前・後		2	○				兼1 ※演習
	感性の実践哲学（リベラル アーツ・ゼミナール）	1前		1	○				兼1 ※演習 集中
	人と文化								
	人と自然								
	人と自然と数学α	1前		2	○				兼1
	人と自然と数学β	1後		2	○				兼1
	人と自然と物理学	1後		2	○				兼2
	化学概論Ⅰ	1前		2	○				兼1
	化学概論Ⅱ	1後		2	○				兼1
	生物学概論Ⅰ	1前		2	○				兼1
	生物学概論Ⅱ	1後		2	○				兼1
	地球の科学	1後		2	○				兼1
	エネルギー科学	1前		2	○				兼1
	科学史	1後		2	○				兼1
	物理学Ⅰ	1前		2	○				兼1
	食と健康の科学	1前		2	○				兼4
	生命科学講話	1前		2	○				兼15 集中
	時間生物学特論	3前		2	○				兼1 集中
	生物学的人間学	1前		2	○				兼1
	医学概論	2後		2	○				兼1
	意外と知らない植物の世界	1後		2	○				兼5

【既設課程教育課程表：物質工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）												
（工芸科学部物質工学課程）												
		製品の機能から科学を学ぶ（リベラルアーツ・ゼミナール）	1後		2		○					兼1 ※演習
		小計（64科目）	—	0	124	0	—		0	0	0	0
	体の科学	キャンパスヘルス概論	1前		2		○					兼1
		健康体力科学	2後		2		○					兼2
		生涯スポーツ	2前・後		2		○					兼5 ※演習
		生体行動科学	2前		2		○					兼2
		スポーツ科学Ⅰ	1前		2		○					兼6 ※演習
		スポーツ科学Ⅱ	1後		2		○					兼3 ※演習
小計（6科目）	—	0	12	0	—		0	0	0	0	兼9 —	
専門教育科目	専門導入	専門導入ゼミ	1後	2			○		13	7	8	兼40
		地域課題導入セミナー	1前	1			○					兼3 集中地域創生のみのみ
		小計（1科目+1科目（地域創生））	—	3	0	0	—		13	7	0	8
専門基礎科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前		2		○					兼3
		基礎解析Ⅱ	1後		2		○					兼3
		線形代数学Ⅰ	1前		2		○					兼1
		線形代数学Ⅱ	1後		2		○					兼1
		数学演習Ⅰ	1前		2		○					兼3 ※演習
		数学演習Ⅱ	1後		2		○					兼3 ※演習
		解析学Ⅰ	2前		2		○					兼1
		解析学Ⅱ	2後		2		○					兼1
		統計数理	2前		2		○					兼1
		応用解析	2前		2		○					兼1
		応用数理	3前		2		○					兼1
		数理応用代数	4後		2		○					兼1
		数理応用幾何	4後		2		○					兼1
		数理応用解析	4後		2		○					兼1
		数理応用統計	4後		2		○					兼1
数理応用演習	4前		1		○						兼4 ※演習	
物理学	基礎力学	1前		2		○						兼4
	基礎力学演習	1前		2		○						兼4 ※演習
	基礎電磁気学	1後		2		○						兼3
	基礎電磁気学演習	1後		2		○						兼3 ※演習
	物理学実験法及び基礎実験	2前・後	2			○						兼1 ※実験
	量子力学	2後		2		○						兼1
統計熱力学	2前		2		○						兼1	
化学	化学Ⅰ	1前	2			○		1				兼1
	化学Ⅱ	1後	2			○		2				兼1
	物理化学Ⅰ	2前	2			○		2				
	物理化学Ⅱ	2後	2			○		2				
	物理化学演習	2後	2			○		2				※演習
	有機化学Ⅰ	2前	2			○		1				
	有機化学Ⅱ	2後	2			○			1	1		
	化学工学Ⅰ	2後		2		○						兼2
	無機化学	2前	2			○		1				
	分析化学	1後		2		○		1	1			兼1
化学基礎実験	1前・2前・2後	2				○	13	7		8	兼1 共同	
環境化学	3後		2		○						兼1	
生物学	生物学Ⅰ	1前		2		○						兼4
	生物学Ⅱ	1後		2		○						兼4
	生物化学Ⅰ	2前		2		○						兼1
	生物化学Ⅱ	2後		2		○						兼2
	資源生物と環境	1後		2		○						兼4
生物学基礎実験A	4前			2		○					兼31 共同、教職用	
情報	情報処理演習	1前	2			○				2		兼5 ※演習

【既設課程教育課程表：物質工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部物質工学課程)

報	学術国際情報	3前	2			○			13	7		8			※演習
その他	地学Ⅰ	4前		2		○									兼1 教職用 兼1 集中、 兼2 ※実験 兼2 集中、 兼2 教職用
	地学Ⅱ	4前		2		○									
	地学実験	4前		2		○									
	インターンシップA	3前		1			○	1							
	インターンシップB	3前		2			○	1							
繊維科学プログラム科目	繊維ナノ構造学	3後		2		○									兼1
	繊維プロセス工学	4前		2		○									兼15 オムニバス
	繊維生産流通システム概論	3後		2		○									兼1 集中
	クロウジングサイエンス	4前		2		○									兼2 オムニバス
	繊維科学実験	4前		2		○									兼1 ※実験 兼1 集中
知的財産	アントレプレナーシップ概論	2前		2		○									兼1 地域創生 兼1 選択
	知的財産概論Ⅰ	2前		2		○									兼1 地域創生 兼1 選択
	知的財産概論Ⅱ	2後		2		○									兼1 地域創生 兼1 選択
	特許法・実用新案法Ⅰ	2前		2		○									兼1 地域創生 兼1 選択
	特許法・実用新案法Ⅱ	2後		2		○									兼1 地域創生 兼1 選択
	知的財産演習	3後		1			○								兼1 地域創生 兼1 選択
	民法概論Ⅰ	2前		2		○									兼1 地域創生 兼1 選択
民法概論Ⅱ	2後		2		○									兼1 地域創生 兼1 選択	
複合材料	繊維科学概論	3後		1		○									兼1 地域創生 兼1 のみ
	複合材料科学	3後		2		○									兼1 地域創生 兼1 のみ
	先端複合材料科学	3後		2		○									兼1 地域創生 兼1 のみ
	複合材料基礎実験	3後		1			○								兼1 地域創生 兼1 のみ
	複合材料ものづくり実験	4前		1			○								兼1 地域創生 兼1 のみ
	小計（61科目+5科目(地域創生)）	—	24	79	23	—			13	7	0	8	0	兼99	—
必修科目	実験解析	2前	2			○			2						
	無機物質化学Ⅰ	2後	2			○				2					
	無機化学演習	2後	2			○				4		2			※演習
	有機化学演習	2後	2			○			1			5			※演習
	物質研究実験Ⅰ	2後	2				○	13	7			8			共同
	物質研究実験Ⅱ	2後・3前・3後	2				○	13	7			8			共同
	物質研究実験Ⅲ	3前・後	2				○	13	7			8			共同
	卒業研究	4通	8				○	13	7			8			地域創生 兼1 除く
選択必修科目A（分子物質工学分野）	応用分析化学	2前		2		○			1	1					
	有機物質化学Ⅰ	3前		2		○			2						
	物質物理化学Ⅰ	2後		2		○			1						
	高分子化学	3前		2		○			1			1			
	有機機器分析	3前		2		○				1					
	有機物質化学Ⅱ	3後		2		○			1	1					
	有機反応化学	3後		2		○			2						
	触媒化学	4前		2		○			1						兼1
	物質物理化学Ⅱ	3前		2		○			2						
	分子量子化学	3後		2		○				1		1			
	物質分光化学	4前		2		○			1						
	有機資源化学	4前		2		○			2						
	生体高分子化学	4前		2		○									兼2

【既設課程教育課程表：物質工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）															
（工芸科学部物質工学課程）															
選択必修科目B （材料物質工学分野）	セラミック化学	3後		2	○			1	1						
	無機物質化学Ⅱ	3前		2	○			1	1						
	界面化学	4前		2	○			1							
	固体物性概論	3前		2	○								兼1		
	固体電子論	3後		2	○				1						
	固体熱力学	3後		2	○			1					兼2		
	応用色彩工学	4前		2	○							1			
	高分子材料化学	3後		2	○										
	精密材料化学	3後		2	○			2						兼1	集中
	金属材料学	3後		2	○									兼2	
	化学工学Ⅱ	3前		2	○										
材料機器分析概論	3前		2	○			1	3			1				
セラミック物理学	4前		2	○			1	1							
選択科目 （共通）	最先端科学講座	4後		2	○			1						兼2	集中
地域創生 Teach Project	地域創生課題セミナーⅠ	3後	2			○								兼2	地域創生のみ
	地域創生課題セミナーⅡ	4前		2		○								兼2	地域創生のみ
	ものづくりインターンシップⅠ	3後	4				○							兼2	地域創生のみ
	ものづくりインターンシップⅡ	4前		4			○							兼2	地域創生のみ
	卒業プロジェクト	4通	8				○			13	7		8		兼2
	小計（35科目+5科目（地域創生））	—	36	60	0	—		13	7	0	8	0		兼11	—
教職に関する科目	現代教師論	1後		2	○									兼1	集中
	教育原論	1前		2	○									兼1	
	日本教育史	1前		2	○									兼1	集中
	教育心理学	1後		2	○									兼1	
	教育社会学	1前		2	○									兼1	集中
	教育課程論	1前		2	○									兼1	集中
	理科教育法ⅠA	3前		2	○									兼1	
	理科教育法ⅠB	3後		2	○				1					兼1	
	理科教育法Ⅱ	2前・後		4	○									兼1	
	道徳教育研究	1後		2	○									兼1	
	特別活動論	1前		2	○									兼1	集中
	教育方法論	1後		2	○									兼1	集中
	視聴覚教育概説	1後		2	○									兼1	集中
	生徒指導	1前		2	○									兼1	集中
	教育相談論	1前		2	○									兼1	集中
	教職実践演習（中・高）	4後		2			○							兼4	集中
	教育実習Ⅰ	4前		4										兼1	
	教育実習Ⅱ	4前		2										兼1	
	教育実習Ⅲ	4前		1										兼1	集中
	小計（19科目）	—	0	0	41	—		0	1	0	0	0		兼14	—
合計（274科目+11科目（地域創生））		—	69	405	64	—		13	7	0	8	0		兼400	—
学位又は称号	学士(工学)	学位又は学科の分野			工学関係										

【既設課程教育課程表：デザイン経営工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン経営工学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
英語	Interactive English A	1前	1				○								兼2		
	Interactive English B	1後	1				○								兼2		
	Career English Basic	1前	1				○								兼3		
	Academic English	1後	1				○								兼2		
	Career English Intermediate	2前・後	1				○								兼6		
	Career English Advanced	2前・後	1				○								兼6		
	Active English CLIL	2前・後		1			○								兼4		
	Active English Listening & Speaking I	2前・後		1			○								兼6		
	Active English Listening & Speaking II	2前・後		1			○								兼4		
	Active English Reading I	2前・後		1			○								兼4		
	Active English Reading II	2前・後		1			○								兼8		
	Active English Writing I	2前・後		1			○								兼4		
	Active English Writing II	2前・後		1			○								兼4		
	Active English Project-Based Learning	2前・後		1			○								兼2		
言語教育科目	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前		1		○								兼1		
		ドイツ語初級基礎B	1後		1		○								兼1		
		ドイツ語初級演習A	1前		1		○								兼1		
		ドイツ語初級演習B	1後		1		○								兼1		
	フランス語	フランス語初級基礎A	1前		1		○								兼4		
		フランス語初級基礎B	1後		1		○								兼4		
		フランス語初級演習A	1前		1		○								兼3		
		フランス語初級演習B	1後		1		○								兼3		
中国語	中国語初級基礎A	1前		1		○								兼1			
	中国語初級基礎B	1後		1		○								兼1			
	中国語初級演習A	1前		1		○								兼1			
	中国語初級演習B	1後		1		○								兼1			
	中国語中級A	2前		1		○								兼2			
	中国語中級B	2後		1		○								兼2			
小計 (36科目)	—	6	30	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼42	—		
人間教養科目	工芸科学教養科目	工芸科学基礎	1前		1		○								兼4		
		キャリア教育基礎	1前		1		○								兼2		
		KITスタンダード	1後		2			○							兼6	集中	
		学習・キャリア戦略論	1後		2		○								兼1	※演習	
		国際理解	1前		1			○								兼1	集中
		人権教育	1前		2		○									兼1	
		科学技術と環境・倫理	地球環境論	1前		2		○									兼1
	環境マネジメント		3前		1		○									兼2	集中
	環境問題と持続可能な社会		1前		2		○									兼1	
	環境と法		1後		2		○									兼1	
	環境論		1後		2		○									兼1	
	情報セキュリティと情報倫理		1後		2		○									兼3	
	生命倫理と環境倫理		2前		2		○									兼1	
	テクノロジー論	2後		2		○									兼1		

【既設課程教育課程表：デザイン経営工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン経営工学課程)

		現代科学と倫理	1前		2		○											兼1	
	ものづくりと技術戦略	ものづくりと生命物質科学	1前		2		○											兼14	
		ものづくりと造形科学	1後		2		○											兼14	
		伝統産業概論Ⅰ	1前		2		○											兼1 集中	
		伝統産業概論Ⅱ	1後		2		○											兼8 集中	
		産学連携ものづくり実践	3前		4		○											兼1 ※実習	
		ものづくり加工実習	2後		2		○											兼3 ※実習	
		実践ユニバーサルデザイン	1前		2		○			1								集中	
		リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ -地域連携プロジェクト	1前		2		○											兼10 ※演習
		リーダーシップ基礎Ⅱ	1後		2		○											兼2 ※演習	
		知的財産経営論	1前		2		○											兼2	
		リーダーシップ実践Ⅰ	1前		2		○											兼1 ※演習 集中	
		リーダーシップ実践Ⅱ	1後		2						○							兼2 集中	
		国際連携プロジェクト	4前		1			○										兼2 集中	
	京の伝統文化と先端	京のサステナブルデザイン	2前		2		○			1								兼3	
		文化財学	2前		2		○											兼2 ※演習 集中	
		京の文化行政	2前		2		○											兼2 ※演習 集中	
		京の伝統工芸-技と美	3前		2		○			1	1							兼7 ※演習 集中	
		京の伝統工芸-知と美	4前		2		○											兼2 ※演習 集中	
		京の意匠	1後		2		○											兼1	
		京のまち	3後		2		○											兼5	
		京の知恵 伝統産業の先進的ものづくり	2後		2		○											兼1	
		京の産業技術史	1後		2		○											兼1	
		京の生活文化史	1前・後		2		○											兼1	
		京都の文学Ⅰ	1前		2		○											兼1	
		京都の文学Ⅱ	1後		2		○											兼1	
		京都の歴史Ⅰ	1前		2		○											兼3	
		京都の歴史Ⅱ	1後		2		○											兼3	
		現代京都論	1前		2		○											兼1	
		京都の農林業	1後		2		○											兼8	
		京都の自然と森林	1前		2		○											兼4	
		宗教と文化	1後		2		○											兼1	
		英語で京都	3後		2		○											兼1	
		近代京都と三大学	1前		2		○											兼5	
	京野菜を栽培する（リベラル アーツ・ゼミナール）	1前		1			○											兼2 ※実習 集中	
	京都の経済	1後		2		○												兼1	
	京都学・歴彩館ゼミ（リベラル アーツ・ゼミナール）	2後		2		○												兼1 ※演習	
	小計（51科目）		—	0	100	0	—		2	1	0	0	0	0				兼111 —	
基本 教養 科目	人 と 社 会	法学	1前		2		○											兼2	
		憲法	1後		2		○											兼2	
		経済学	2前		2		○											兼1	
		心理学	1前		2		○												兼1
		現代教育論	1前		2		○												兼1
		政治学	1後		2		○												兼1
		経済学入門	1後		2		○												兼1
		国際政治	1前		2		○												兼1
		生活と経済	1後		2		○												兼1
		社会学Ⅰ	1前		2		○												兼1
		社会学Ⅱ	1後		2		○												兼1
		現代社会と心	1後		2		○												兼1

【既設課程教育課程表：デザイン経営工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン経営工学課程)

	現代社会とジェンダー	1前	2	○							兼6
	食環境をめぐる国際社会と日本	1前	2	○							兼2
	人文地理学Ⅰ	1前	2	○							兼2
	人文地理学Ⅱ	1後	2	○							兼1
	医史学	1前	2	○							兼1
	発達心理学	1前	2	○							兼1 集中
	社会科学の学び方（リベラル アーツ・ゼミナール）	1後	2	○							兼1 ※演習
	現代社会と映画製作（リベラ ルアーツ・ゼミナール）	1前	1	○							兼1 ※演習 集中
	アメリカと中国はいま（リベ ラルアーツ・ゼミナール）	1後	1	○							兼1 ※演習 集中
	現代イスラーム世界の文化と社会 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前	1	○							兼1 ※演習 集中
	経営哲学（リベラルアーツ・ ゼミナール）	2前	2	○							兼1 ※演習
人 と 文 化	哲学	1後	2	○							兼1
	歴史学	1後	2	○							兼2 集中
	舞台芸術論	3前	2	○							兼1
	日本近代精神史	1前	2	○							兼1
	美と芸術	1前	2	○							兼1
	比較宗教学	1前	2	○							兼1
	西洋文学論	1前	2	○							兼1
	日本近現代文学	1前	2	○							兼1
	科学と思想（リベラルア ーツ・ゼミナール）	1後	2	○							兼1 ※演習
	東西文化交流史	1後	2	○							兼1
	西洋文化論	1後	2	○							兼1
	日本史	1前	2	○							兼1
	フランス語圏の文化とジャポニスム	2前	2	○							兼1
	アジアの歴史と文化	1前	2	○							兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後	2	○							兼3
	映画で学ぶ英語と文化	3後	2	○							兼1
	映画で学ぶドイツ語と文化	3前	2	○							兼1
	日本文学Ⅰ	1前	2	○							兼1
	日本文学Ⅱ	1後	2	○							兼1
	ラテン語	1後	2	○							兼1
文芸創作論	1後	2	○							兼1	
現代社会に学ぶ問う力・書く力 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前・後	2	○							兼1 ※演習	
感性の実践哲学（リベラル アーツ・ゼミナール）	1前	1	○							兼1 ※演習 集中	
人 と 自 然	人と自然と数学α	1前	2	○							兼1
	人と自然と数学β	1後	2	○							兼1
	人と自然と物理学	1後	2	○							兼2
	化学概論Ⅰ	1前	2	○							兼1
	化学概論Ⅱ	1後	2	○							兼1
	生物学概論Ⅰ	1前	2	○							兼1
	生物学概論Ⅱ	1後	2	○							兼1
	地球の科学	1後	2	○							兼1
	エネルギー科学	1前	2	○							兼1
	科学史	1後	2	○							兼1
	物理学Ⅰ	1前	2	○							兼1
	食と健康の科学	1前	2	○							兼4 オムニバス
	生命科学講話	1前	2	○							兼15 オムニバス 集中
	時間生物学特論	3前	2	○							兼1 集中
	生物学の人間学	1前	2	○							兼1
医学概論	2後	2	○							兼1	

【既設課程教育課程表：デザイン経営工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン経営工学課程)

		意外と知らない植物の世界 製品の機能から科学を学ぶ（リベラルアーツ・ゼミナール）	1後 1後		2 2		○ ○								兼5 オムニバス 兼1 ※演習	
		小計（64科目）	—	0	124	0	—		0	0	0	0	0	0	兼84 —	
	体の科学	キャンパスヘルス概論	1前		2		○								兼1	
		健康体力科学	2後		2		○								兼2	
		生涯スポーツ	2前・後		2		○								兼5 ※演習	
		生体行動科学	2前		2		○								兼2	
		スポーツ科学Ⅰ	1前		2		○								兼3 ※演習	
		スポーツ科学Ⅱ	1後		2		○								兼3 ※演習	
		小計（6科目）	—	0	12	0	—		0	0	0	0	0	0	兼9 —	
専門教育科目	専門科目導入	デザイン経営工学概論	1前	2			○		6	3	1	2	1		※演習	
		地域課題導入セミナー	1前	1				○							兼3 集中地域創生のみのみ	
		小計（1科目+1科目（地域創生））	—	3	0	0	—		6	3	1	2	1		兼3 —	
専門基礎科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前		2		○								兼1	
		基礎解析Ⅱ	1後		2		○								兼1	
		線形代数学Ⅰ	1前		2		○								兼1	
		線形代数学Ⅱ	1後		2		○								兼1	
		数学演習Ⅰ	1前	2			○								兼1 ※演習	
		数学演習Ⅱ	1後	2			○								兼1 ※演習	
		解析学Ⅰ	2前		2		○								兼2	
		解析学Ⅱ	2後		2		○								兼1	
		統計数理	2前		2		○								兼1	
		応用解析	2前		2		○								兼1	
		応用幾何	2後		2		○								兼1	
		数理解析	2後		2		○								兼1	
		応用数理	3前		2		○								兼1	
	数理応用代数	4後		2		○								兼1		
	数理応用幾何	4後		2		○								兼1 院・学部同時開講科目		
	数理応用解析	4後		2		○								兼1		
	数理応用統計	4後		2		○								兼1		
	力学	基礎力学	1前		2		○			1						兼1
		基礎電磁気学	1後		2		○									兼1
		力学	1後		2		○									兼1
量子力学		2後		2		○									兼1	
統計熱力学		2前		2		○									兼1	
化学・生物学	化学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
	化学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
	環境化学	3後		2		○									兼1	
	生物学Ⅰ	1前		2		○									兼4	
	生物学Ⅱ	1後		2		○									兼4	
情報	情報リテラシー概論	1前	2			○					1					
その他	インターンシップA	3前		1			○		1							
	インターンシップB	3前		2			○		1							
	図学	2後		2		○									兼1	
	生体機能論	3前		2		○									兼1	
	スポーツバイオメカニクス	4前		2		○									兼1	
	新先端ファイブロ科学	1後		2		○									兼12	
	アントレプレナーシップ概論	2前		2		○									兼1	
知的財産	知的財産概論Ⅰ	2前		2		○									兼1	
	知的財産概論Ⅱ	2後		2		○									兼1	
	特許法・実用新案法Ⅰ	2前		2		○									兼1	
	特許法・実用新案法Ⅱ	2後		2		○									兼1	
	知的財産演習	3後		1		○									兼1	

【既設課程教育課程表：デザイン経営工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン経営工学課程)

複合材料	民法概論Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	民法概論Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	繊維科学概論	3後		1		○								兼1	地域創生のみ
	複合材料科学	3後		2		○								兼1	地域創生のみ
	先端複合材料学	3後		2		○								兼1	地域創生のみ
	複合材料基礎実験	3後		1								○		兼1	地域創生のみ
	複合材料ものづくり実験	4前		1								○		兼1	地域創生のみ
	小計（42科目+5科目(地域創生)）	—	6	83	0	—			2	0	0	1	0	兼45	—
課程専門科目	デザイン演習Ⅰ	1前	1			○			1	2		1			
	デザイン演習Ⅱ	1後	1			○			1	2		1			
	デザイン演習Ⅲ	2前		2		○			1	2		1		兼4	
	デザイン演習Ⅳ	2後		2		○			1	2		1		兼2	
	マネジメント演習Ⅰ	1前	1			○				1					
	マネジメント演習Ⅱ	1後	1			○			1						
	マネジメント演習Ⅲ	2前		2		○			1	1					
	マネジメント演習Ⅳ	2後		2		○			1	1					
	エンジニアリング演習Ⅰ	1前	1			○			3		1	1			
	エンジニアリング演習Ⅱ	1後	1			○			3		1	1			
	エンジニアリング演習Ⅲ	2前		2		○			3		1	1			
	エンジニアリング演習Ⅳ	2後		2		○			3		1	1			
	デザイン経営工学演習	3前	4			○			6	3	1	2	1		※演習
	デザイン経営工学研究	3後	4			○			6	3	1	2	1		※演習 地域創生 選択
	デザイン概論	1前		2		○			1	2		1			兼3
	空間デザイン論	2前		2		○				1					
	企業経営学概論Ⅰ	1前		2		○			1						
	企業経営学概論Ⅱ	1後		2		○				1					
	エンジニアリング概説Ⅰ	1前		2		○			1		1				
	エンジニアリング概説Ⅱ	1後		2		○			2						
	資源環境論	1前		2		○									兼1 集中
	ものづくりの統計学	1後		2		○									兼1
	CAD/CG実習	1前		1			○		1			1			集中
	ファシリティ計画論	2前		2		○			1			1			
	マーケティング論	2前		2		○									兼1 集中
	材料工学	2後		2		○									兼1 集中
	プロジェクトマネジメント	2前		2		○			1						
	経営デザインストラテジー	2後		2		○			1						
	ファシリティ経営論	3前		2		○									兼1
	デザインマネジメント	3後		2		○				1					
	デザイン表現演習	3前		2			○		1	2		1			兼2
	市場参入論	3後		2		○				1					
経営戦略論	3前		2		○			1							
人間情報科学	3前		2		○			1							
感覚工学	3後		2		○			1		1					
デザイン経営工学事例研究	3後		2		○									兼4 集中	
情報処理演習	2後		2		○						1			※演習	
ベンチャー企業経営学	3後		2		○			1							
知的財産権論	3前		2		○									兼1	
会計・財務基礎	2後		2		○			1							
卒業研究	4通	8						6	3	1	2	1		地域創生 除く	

【既設課程教育課程表：デザイン経営工学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）												
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(工芸科学部デザイン経営工学課程)												
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

地域創生 P r o j e c t s		地域創生課題セミナーⅠ	3後	2				○						兼2	地域創生のみ	
		地域創生課題セミナーⅡ	4前		2			○						兼2	地域創生のみ	
		ものづくりインターンシップⅠ	3後	4					○					兼2	地域創生のみ	
		ものづくりインターンシップⅡ	4前		4					○				兼2	地域創生のみ	
		卒業プロジェクト	4通	8							6	3	1	2	1	地域創生のみ
		小計（41科目+5科目（地域創生））	—	36	69	0		—		6	3	1	2	1	兼26	—
教職に関する科目		現代教師論	1後			2	○								兼1	集中
		教育原論	1前			2	○								兼1	
		日本教育史	1前			2	○								兼1	集中
		教育心理学	1後			2	○								兼1	
		教育社会学	1前			2	○								兼1	集中
		教育課程論	1前			2	○								兼1	集中
		工業教育法	2前・後			4	○								兼1	
		道徳教育研究	1後			2	○								兼1	
		特別活動論	1前			2	○								兼1	集中
		教育方法論	1後			2	○								兼1	集中
		視聴覚教育概説	1後			2	○								兼1	集中
		生徒指導	1前			2	○								兼1	集中
		教育相談論	1前			2	○								兼1	集中
		教職実践演習（中・高）	4後			2		○							兼4	集中
		教育実習Ⅰ	4前			4			○						兼1	
		教育実習Ⅱ	4前			2				○					兼1	
		教育実習Ⅲ	4前			1					○				兼1	集中
		職業指導Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		職業指導Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		小計（19科目）	—	0	0	41		—		0	0	0	0	0	兼13	—
合計（260科目+11科目（地域創生））			—	51	416	41		—		6	3	1	2	1	兼315	—
学位又は称号		学士（工学）		学位又は学科の分野				工学関係								

【既設課程教育課程表：デザイン・建築学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

（工芸科学部デザイン・建築学課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
言語教育科目	Interactive English A	1前	1				○								兼8	
	Interactive English B	1後	1				○								兼8	
	Career English Basic	1前	1				○								兼6	
	Academic English	1後	1				○								兼5	
	Career English Intermediate	2前・後	1				○								兼3	
	Career English Advanced	2前・後	1				○								兼3	
	Active English CLIL	2前・後			1		○								兼4	
	Active English Listening & Speaking I	2前・後			1		○								兼6	
	Active English Listening & Speaking II	2前・後			1		○								兼4	
	Active English Reading I	2前・後			1		○								兼4	
	Active English Reading II	2前・後			1		○								兼8	
	Active English Writing I	2前・後			1		○								兼4	
	Active English Writing II	2前・後			1		○								兼4	
	Active English Project-Based Learning	2前・後			1		○								兼2	
	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前		1			○								兼2
		ドイツ語初級基礎B	1後		1			○								兼2
		ドイツ語初級演習A	1前		1			○								兼1
		ドイツ語初級演習B	1後		1			○								兼1
		ドイツ語中級A	2前		1			○								兼2
		ドイツ語中級B	2後		1			○								兼2
		ドイツ語上級A	3前		1			○								兼2
		ドイツ語上級B	3後		1			○								兼2
	フランス語	フランス語初級基礎A	1前		1			○								兼4
		フランス語初級基礎B	1後		1			○								兼4
		フランス語初級演習A	1前		1			○								兼3
		フランス語初級演習B	1後		1			○								兼3
		フランス語中級A	2前		1			○								兼2
		フランス語中級B	2後		1			○								兼2
		フランス語上級A	3前		1			○								兼1
		フランス語上級B	3後		1			○								兼1
	中国語	中国語初級基礎A	1前		1			○								兼2
		中国語初級基礎B	1後		1			○								兼2
		中国語初級演習A	1前		1			○								兼1
		中国語初級演習B	1後		1			○								兼1
		中国語中級A	2前		1			○								兼2
		中国語中級B	2後		1			○								兼2
小計（36科目）	—	—	6	30	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼46	—	
人間教養科目	工芸科学教養科目	工芸科学基礎	1前		1		○			1						兼3
		キャリア教育基礎	1前		1		○									兼2
		KITスタンダード	1後		2			○			1					兼5
		学習・キャリア戦略論	1後		2			○								兼1
		国際理解	1前		1			○								兼1
		人権教育	1前		2			○								兼1
	科学技術と環境・倫理	地球環境論	1前		2			○								兼1
		環境マネジメント	3前		1			○								兼2
		環境問題と持続可能な社会	1前		2			○								兼1
		環境と法	1後		2			○								兼1
		環境論	1後		2			○								兼1
		情報セキュリティと情報倫理	1後		2			○								兼3
		生命倫理と環境倫理	2前		2			○								兼1
		テクノロジー論	2後		2			○								兼1
		現代科学と倫理	1前		2			○								兼1

【既設課程教育課程表：デザイン・建築学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン・建築学課程)

	人文地理学Ⅱ	1後		2	○							兼1	
	医学	1前		2	○							兼1	
	発達心理学	1前		2	○							兼1	集中
	社会科学の学び方（リベラル アーツ・ゼミナール）	1後		2	○							兼1	※演習
	現代社会と映画製作（リベラル アーツ・ゼミナール）	1前		1	○							兼1	※演習 集中
	アメリカと中国はいま（リベラ ルアーツ・ゼミナール）	1後		1	○							兼1	※演習 集中
	現代イスラーム世界の文化と社会 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前		1	○							兼1	※演習 集中
	経営哲学（リベラルアーツ・ゼ ミナール）	2前		2	○							兼1	※演習
人 と 文 化	哲学	1後		2	○							兼1	
	歴史学	1後		2	○							兼2	集中
	舞台芸術論	3前		2	○							兼1	
	日本近代精神史	1前		2	○							兼1	
	美と芸術	1前		2	○			1					
	比較宗教学	1前		2	○							兼1	
	西洋文学論	1前		2	○							兼1	
	日本近現代文学	1前		2	○							兼1	
	科学と思想（リベラルアーツ・ ゼミナール）	1後		2	○							兼1	※演習
	東西文化交流史	1後		2	○							兼1	
	西洋文化論	1後		2	○							兼1	
	日本史	1前		2	○							兼1	
	フランス語圏の文化とジャポニスム	2前		2	○							兼1	
	アジアの歴史と文化	1前		2	○							兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化	1後		2	○							兼3	
	映画で学ぶ英語と文化	3後		2	○							兼1	
	映画で学ぶドイツ語と文化	3前		2	○							兼1	
	日本文学Ⅰ	1前		2	○							兼1	
	日本文学Ⅱ	1後		2	○							兼1	
	ラテン語	1後		2	○							兼1	
文芸創作論	1後		2	○							兼1		
現代社会に学ぶ問う力・書く力 （リベラルアーツ・ゼミナール）	1前・後		2	○							兼1	※演習	
感性の実践哲学（リベラルア ーツ・ゼミナール）	1前		1	○							兼1	※演習 集中	
人 と 自 然	人と自然と数学α	1前		2	○							兼1	
	人と自然と数学β	1後		2	○							兼1	
	人と自然と物理学	1後		2	○							兼2	
	化学概論Ⅰ	1前		2	○							兼1	
	化学概論Ⅱ	1後		2	○							兼1	
	生物学概論Ⅰ	1前		2	○							兼1	
	生物学概論Ⅱ	1後		2	○							兼1	
	地球の科学	1後		2	○							兼1	
	エネルギー科学	1前		2	○							兼1	
	科学史	1後		2	○							兼1	
	物理学Ⅰ	1前		2	○							兼1	
	食と健康の科学	1前		2	○							兼4	
	生命科学講話	1前		2	○							兼15	集中
	時間生物学特論	3前		2	○							兼1	集中
	生物学的人間学	1前		2	○							兼1	
	医学概論	2後		2	○							兼1	
	意外と知らない植物の世界 製品の機能から科学を学ぶ（リ ベラルアーツ・ゼミナール）	1後		2	○			1		1		兼5	
小計（64科目）	—	0	124	0	—		1	1	1	0	0	兼81	—

【既設課程教育課程表：デザイン・建築学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

（工芸科学部デザイン・建築学課程）

体の科学	キャンパスヘルス概論	1前		2		○									兼1		
	健康体力科学	2後		2		○									兼2		
	生涯スポーツ	2前・後		2		○									兼5 ※演習		
	生体行動科学	2前		2		○									兼2		
	スポーツ科学Ⅰ	1前		2		○									兼3 ※演習		
	スポーツ科学Ⅱ	1後		2		○									兼3 ※演習		
	小計（6科目）	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	0	兼9	—	
専門教育科目	デザイン・建築学概論	1前	2			○			16	13	5	9	1				
	デザイン・建築基礎実習	1前	2				○		16	13	5	9	1				
	地域課題導入セミナー	1前	2				○							兼3	集中・地域創生の み		
	小計（2科目+1科目（地域創生））	—	6	0	0	—			16	13	5	9	1	兼3	—		
専門基礎科目	数学	基礎解析Ⅰ	1前		2		○								兼1		
		基礎解析Ⅱ	1後		2		○								兼1		
		線形代数学Ⅰ	1前		2		○								兼1		
		線形代数学Ⅱ	1後		2		○								兼1		
		数学演習Ⅰ	1前		2		○								兼1 ※演習		
		数学演習Ⅱ	1後		2		○								兼1 ※演習		
		統計数理	2前		2		○								兼1		
	物理学	基礎力学	1前		2		○								兼1		
		基礎電磁気学	1後		2		○								兼1		
		力学	1後		2		○								兼1		
		量子力学	2後		2		○								兼1		
		統計熱力学	2前		2		○								兼1		
	化学・生物学	化学Ⅰ	1前		2		○								兼1		
		化学Ⅱ	1後		2		○								兼1		
		環境化学	3後		2		○								兼1		
		生物学Ⅰ	1前		2		○								兼4		
		生物学Ⅱ	1後		2		○								兼4		
	知的財産	造形基礎	1前		1			○							兼2		
		その他	インターンシップA	3前		1			○	1							
			インターンシップB	3前		2			○	1							
		アントレプレナーシップ概論	2前		2		○								兼1	地域創生 選択	
		知的財産概論Ⅰ	2前		2		○								兼1	地域創生 選択	
		知的財産概論Ⅱ	2後		2		○								兼1	地域創生 選択	
		特許法・実用新案法Ⅰ	2前		2		○								兼1	地域創生 選択	
		特許法・実用新案法Ⅱ	2後		2		○								兼1	地域創生 選択	
		知的財産演習	3後		1		○								兼1	地域創生 選択	
		民法概論Ⅰ	2前		2		○								兼1	地域創生 選択	
		民法概論Ⅱ	2後		2		○								兼1	地域創生 選択	
複合材料		繊維科学概論	3後		1		○								兼1	地域創生 のみ	
		複合材料科学	3後		2		○								兼1	地域創生 のみ	
		先端複合材料科学	3後		2		○								兼1	地域創生 のみ	
		複合材料基礎実験	3後		1			○							兼1	地域創生 のみ	
	複合材料ものづくり実験	4前		1			○							兼1	地域創生 のみ		
小計（28科目+5科目（地域創生））	—	0	45	15	—			1	0	0	0	0	0	兼29	—		

【既設課程教育課程表：デザイン・建築学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン・建築学課程)

課程 専門科目	建築技術者倫理	建築職能論	3前		2		○				3	1							
	建築計画	建築計画Ⅰ	2前		2		○				1	1							
		建築計画Ⅱ	2後		2		○					1	1						
		住環境計画	3後		2		○				1			1					
		環境デザイン論	3前		2		○				1		2	1					
		建築計画演習	3後		2			○			1	2	1						
	建築史	西洋建築史	2前		2		○				1								
		東洋建築史	3前		2		○					1							
		日本建築史	2後		2		○				1	1							
		都市史Ⅰ	2後		2		○						1						
		都市史Ⅱ	3前		2		○				1								
		都市史Ⅲ	3後		2		○					1	1						
		近代建築史	3前		2		○				2								
		景観論	3前		2		○				1								
		都市・建築遺産論	3後		2		○				1				1				
	建築環境工学	伝統建築演習	3後		2		○				1	1			2				
		環境調整Ⅰ	2前		2		○					1							
		環境調整Ⅱ	2後		2		○					1							
	建築設備	建築環境工学演習	3前		1			○				1							
		建築設備	3前		2		○											兼1	
構造力学	空気調整設備	3後		2		○												兼1	
	建築構造力学Ⅰ	1後		2		○				1	1	1							
	建築構造力学Ⅱ	2前		2		○				1	1								
一般建築構造	建築構造力学Ⅲ	2後		2		○				1	1								
	建築構造	2前		2		○				3	2	1							
	建築構造設計学Ⅰ	2後		2		○				1	1								
建築材料	建築構造設計学Ⅱ	3前		2		○					1	1							
	造形材料	2後		2		○						1	1						
建築法規等	建築構造材料実験	3前		1				○		1	1	1	1						
	建築測量演習	3前		1				○			4	1	3						
	建築生産	3後		2		○											兼1		
建築設計	建築法規	3後		2		○												兼1	
	建築設計基礎	1後		3				○		11	7	4	7						
	建築設計実習Ⅰ	2前		4				○		5	3	1	5				兼2		
	建築設計実習Ⅱ	2後		4				○		9	4	2	5				兼2		
	建築設計実習Ⅲ	3前		4				○		8	3	2	4				兼2		
	建築設計実習Ⅳ	3後		4				○		11	7	4	7						
	建築設計製図Ⅰ	2後		2				○									二級建築士受験資格を希望する者のみ		
建築設計製図Ⅱ	3前		2				○												
デザイン史	建築設計製図Ⅲ	3後		1				○											
	日本美術史	1前		2		○						1							
	デザイン史	2後		2		○					1								
デザイン論	近代造形史	3前		2		○					1								
	製品技術論	2前		2		○					1								
	視覚デザイン論	2前		2		○					1								
	映像デザイン論	2後		2		○						1							
	工業デザイン論	2後		2		○				1									
デザイン論	室内意匠計画	3前		2		○				1									
	視覚形成論	3後		2		○				1									

【既設課程教育課程表：デザイン・建築学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）

(工芸科学部デザイン・建築学課程)

	デザイン方法論	3後		2		○			1									
デザイン 実習	デザイン基礎	1後		3				○	6	6	1	3	1					
	デザインプロジェクトⅠ	2前		4				○	6	6	1	3	1					
	デザインプロジェクトⅡ	2後		4				○	6	6	1	3	1					
	デザインプロジェクトⅢ	3前		4				○	6	6	1	3	1					
	デザインプロジェクトⅣ	3後		4				○	6	6	1	3	1					
	デザインプラクティスⅠ	2前		1				○	6	6	1	3	1				兼3	
	デザインプラクティスⅡ	2後		1				○	6	6	1	3	1				兼2	
	デザインプラクティスⅢ	3前		1				○	6	6	1	3	1				兼1	
	デザインプラクティスⅣ	3後		1				○	1	1								
芸術 論	感性論	2前		2		○				1								
	写真・映画論	3前		2		○				1		1					集中	
	現代芸術論	3後		2		○				1								
	庭園美学論	3前		2		○											兼1	
美術 館学・ 博物 館学	現代美術館学	2後		2		○			2			1						
	博物館概論	3前		2		○					1							
デザ イン・ 建 築 学 演 習	デザイン・建築学演習	4前		6			○		16	13	5	9	1					
卒 業 研 究	卒業研究	4通	8						16	13	5	9	1				地域創生 除く	
地 域 創 生 T e a m	地域創生課題セミナーⅠ	3後	2				○										兼2 地域創生 のみ	
	地域創生課題セミナーⅡ	4前	2				○										兼2 地域創生 のみ	
	ものづくりインターンシップⅠ	3後	4					○									兼2 地域創生 のみ	
	ものづくりインターンシップⅡ	4前	4					○									兼2 地域創生 のみ	
	卒業プロジェクト	4通	8						16	13	5	9	1				兼2 地域創生 のみ	
	小計 (67科目+5科目(地域創生))	—	22	152	0		—		16	13	5	9	1				兼19	—
教 職 に 関 す る 科 目	現代教師論	1後		2		○											兼1 集中	
	教育原論	1前		2		○											兼1 集中	
	日本教育史	1前		2		○											兼1 集中	
	教育心理学	1後		2		○											兼1 集中	
	教育社会学	1前		2		○											兼1 集中	
	教育課程論	1前		2		○											兼1 集中	
	工業教育法	2前・後		4		○											兼1 集中	
	道徳教育研究	1後		2		○											兼1 集中	
	特別活動論	1前		2		○											兼1 集中	
	教育方法論	1後		2		○											兼1 集中	
	視聴覚教育概説	1後		2		○											兼1 集中	
	生徒指導	1前		2		○											兼1 集中	
	教育相談論	1前		2		○											兼1 集中	
	教職実践演習(中・高)	4後		2				○									兼4 集中	
	教育実習Ⅰ	4前		4					○								兼1 集中	
	教育実習Ⅱ	4前		2					○								兼1 集中	
	教育実習Ⅲ	4前		1					○								兼1 集中	
職業指導Ⅰ	1前		2		○											兼1 集中		
職業指導Ⅱ	1後		2		○											兼1 集中		
	小計 (19科目)		0	0	41		—		0	0	0	0	0				兼13	
学 芸 員 資 格 取 得 の	博物館概論	3前		2		○					1							
	博物館学Ⅰ	3前		2		○			2									
	博物館学Ⅱ	3後		2		○				2								
	文化財学	2前		2		○			2									
	文化財保存科学	3前		2		○											兼1	
	教育学概論	3前		2		○											兼1 集中	
	博物館教育論	3後		1		○											兼1 集中	

【既設課程教育課程表：デザイン・建築学課程】

教育課程等の概要（事前伺い）														
（工芸科学部デザイン・建築学課程）														
た め の 授 業 科 目	生涯学習概論	3前			2	○								兼1
	博物館情報・メディア論	3後			2	○			1					兼1
	博物館実習	4通			3		○	2	1					
	デザインマネジメント	3後			2	○								兼1
	京の産業技術史	1後			2	○								兼1
小計（12科目）	—	0	0	24	—			4	3	1	0	0	兼6	—
合計（286科目+11科目(地域創生)）		—	34	463	80	—		16	13	5	9	1	兼295	—
学位又は称号		学士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係							